

「DMO やツアーオペレーター等の連携による  
アドベンチャー旅行者受入拡大に向けた実証」業務

報告書

令和6年3月 国土交通省 北海道運輸局

# 目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1. 業務目的 .....                      | 3  |
| 2. 実施内容 .....                      | 3  |
| 2.1. 事業内容 .....                    | 3  |
| 2.2. 事業実施体制 .....                  | 4  |
| 2.3. 実施スケジュール .....                | 4  |
| 3. 実施内容詳細 .....                    | 5  |
| 3.1. AT 有識者について .....              | 5  |
| 3.2. 募集 .....                      | 6  |
| 3.3. 参加者情報 .....                   | 6  |
| 3.4. 事前研修の実施 .....                 | 7  |
| 3.5. 実地研修 .....                    | 12 |
| 3.5.1. 実施行程と実施内容の詳細 .....          | 12 |
| 3.5.2. 参加者へのアンケート調査 .....          | 34 |
| 3.6. アンケート調査結果を踏まえた今後の変更点の検討 ..... | 39 |
| 3.6.1. 研修の構成と参加者の属性 .....          | 39 |
| 3.6.2. ネットワーキングにおける改善点 .....       | 44 |
| 4. 総括 .....                        | 46 |
| 4.1. 今回の事業で得られた成果 .....            | 46 |
| 4.2. 今後の提言内容 .....                 | 47 |
| 4.3. 総評 .....                      | 49 |

## 1. 業務目的

日本・北海道の特徴である自然、体験、文化、歴史等の強みを活かした旅行形態としてアドベンチャートラベルが注目を集めている。2023年9月にはアドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本が札幌市を中心に開催され、またエクスカージョンが日本全国で実施されたことにより、ATによる地域振興の取り組みは、北海道内に留まらず、日本全国各地でさらに活発化していくことが期待される。

またATを志向する観光客の傾向として、従来よりも旅行期間を長く設定することや長い期間をかけて様々な地域を訪問することが挙げられる。しかしながら、ATに取り組むDMOやツアーオペレーター等の数はまだ少ない状況であり、これらのDMO等は、地域外との広域のネットワークを構築できていない場合も多い。このような広域のネットワークがない単独のDMO等では、ガイド等の手配や商圏外の旅行手配、さらには日本全体として求められるAT旅行品質の平準化に対応しきれず、機会逸失、またATデスティネーションとしての日本への評価の低下を招くことが危惧される。

そのような事態を避けるためには、ATWS2023が開催されたことでAT推進の機運が高まっているこの機会を捉えて、DMO等の協調関係を構築し、異なるエリアのツアー同士の連動、ATガイド等の仲介、旅行品質向上の取り組みを行うことが必要である。

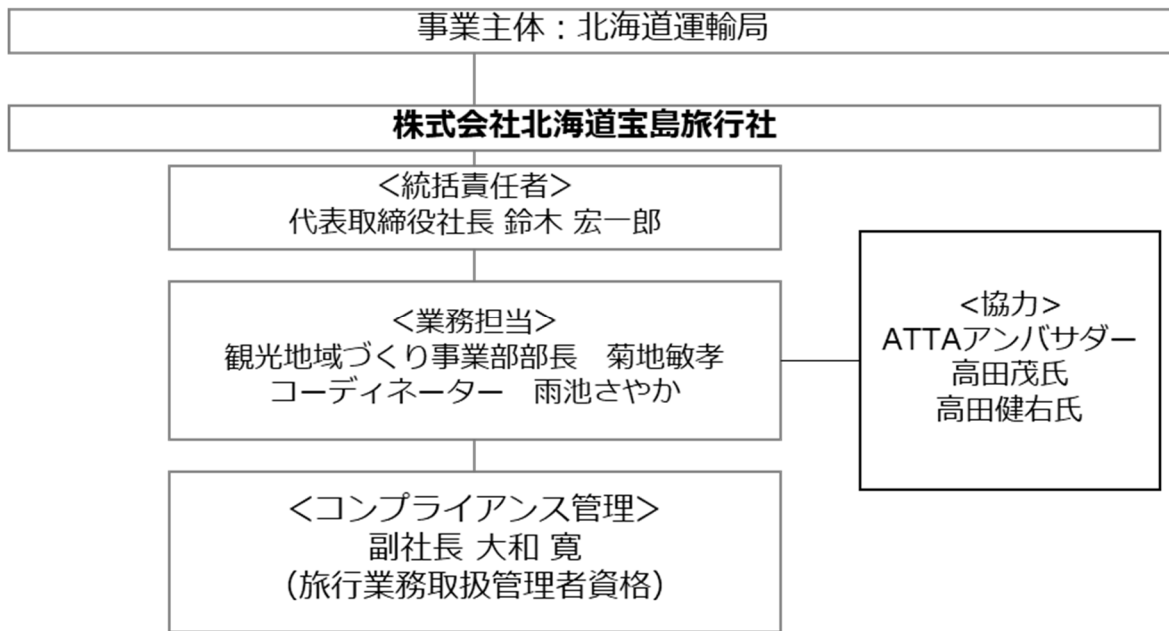
そのため本事業では、ATWSで催行されたプレサミット・アドベンチャーを基本とし、全国から募集したDMO等と、北海道内のAT関係者が集って参加する実地研修を実施することによる連携強化と品質向上、機会逸失の低減及び日本・北海道におけるATの受入体制の強化に向けた効果的な方策を検討・実証する。

## 2. 実施内容

### 2.1. 事業内容

| 仕様書項目                                | 仕様書事業詳細  | KPI   |
|--------------------------------------|--|---|
| 連携強化と品質向上を目指す<br>実地研修プログラムの作成・<br>実証 | <ul style="list-style-type: none"><li>PSAをベースとした実地研修プログラムを作成し実施</li><li>実地研修実施前の講義・ワークショップ・交流会等の実施</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>研修プログラム作成数<br/>→1件</li><li>研修プログラム参加者<br/>→10名以上</li><li>ネットワーク構築につながったと回答する参加者<br/>→7割以上</li></ul> |
| 参加者における実地研修実施<br>による効果の把握            | <ul style="list-style-type: none"><li>参加者へのアンケートの実施</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>ATに携わる上で必要な知見を得られたと回答する参加者<br/>→7割以上</li><li>意識変容が生じた参加者<br/>→7割以上</li></ul>                        |

## 2.2. 事業実施体制



## 2.3. 実施スケジュール

| 項目           | 令和5年 |      |         |    |    |    | 令和6年           |      |    |          |    |             |    |    |    |       |
|--------------|------|------|---------|----|----|----|----------------|------|----|----------|----|-------------|----|----|----|-------|
|              | 11月  |      | 12月     |    |    |    | 1月             |      |    | 2月       |    |             | 3月 |    |    |       |
|              | 上旬   | 中旬   | 下旬      | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬             | 中旬   | 下旬 | 上旬       | 中旬 | 下旬          | 上旬 | 中旬 | 下旬 |       |
| (1) 参加者の募集   |      | 事業開始 | 内容すり合わせ |    |    |    | 1/10-2/9 参加者募集 |      |    |          |    |             |    |    |    | 報告書作成 |
| (2) 実地研修の実施  |      |      | 内容すり合わせ |    |    |    |                |      |    | 2/16事前研修 |    | 2/25-28実地研修 |    |    |    |       |
| (3) 意見交換会    |      |      |         |    |    |    | 内容確認           |      |    |          |    | 取りまとめ       |    |    |    |       |
| (4) アンケートの実施 |      |      | 進捗管理    |    |    |    |                | 内容確認 |    |          |    |             |    | 実施 |    |       |

### 3. 実施内容詳細

#### 3.1. AT 有識者について

アドベンチャートラベルにおける知見を有する者として、ATTA アンバサダーである鶴雅リゾート株式会社の高田茂氏と同会社の高田健右氏を有識者として選定した。



#### 鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部部長 高田茂氏

1959年6月生まれ。明治大学卒業後カナダで1年間過ごし、滞在中に出来る全てのアウトドアを体験。帰国後は阿寒湖温泉のホテルに入社し、海外事業部長着任するなど欧米人マーケット開拓に関わる。2016年にATWSに初参加。以降、ATWSに限らず、Adventure Connect、Adventure Week、EDU(ガイドトレーニング)に参加している。現在は北海道にATを浸透させるべく、尽力している。

#### 【選定理由】

北海道在住の ATTA アンバサダーであり、北海道アウトドアガイド資格有資格者。ガイド研修の講師や講演実績があり、北海道の各地域への AT 普及、およびアドベンチャートラベラーに対するガイディングや情報発信、ガイド育成に関する知見を有するため。



#### 鶴雅リゾート株式会社 営業部 副部長 高田 健右氏

1990年北海道阿寒湖温泉生まれ。2012年に鶴雅リゾート(株)入社。2019年より(株)JTB総合研究所に出向。2021年9月に開催された、アドベンチャーツーリズムの国際イベント、Adventure Travel World Summit VIRTUAL のメインMCを務める。2021年11月より、鶴雅リゾート(株)に戻り現職に着任。海外事業の運営を行いながらも、アドベンチャーツーリズム関連のプロジェクトや講演も行っている。

#### 【選定理由】

北海道在住の ATTA アンバサダー。JTB 総合研究所に出向の際、全国の AT ツアーの磨き上げを行い、日本各地の AT ツアー品質の向上やツアー運営・企画に対しての知見を有するため。

また、事前研修においては、高田健右氏の講義に加え、北海道宝島旅行社の菊地氏も有識者として研修を実施した。



#### 株式会社北海道宝島旅行社 観光地域づくり事業部 部長 菊地 敏孝氏

1971年函館市生まれ。大手旅行会社にて、法人及び個人グループへの企画営業を担当し、添乗では各地をまわり地域を学ぶ。退職後、飲食、再就職支援、温浴、観光振興分野の運営責任者を各社で歴任。

2015年北海道宝島旅行社に入社。2020年3月に同社から北海道観光振興機構 AT推進部へ出向。ATWS(アドベンチャートラベル・ワールドサミット)2021/2023の企画運営に携わり現在に至る。

#### 【選定理由】

北海道観光振興機構出向時に、ATWS の企画運営に携わり、PSA の磨き上げや地域の機運醸成に関わった経験から、ツアーの品質向上や、地域のネットワーク醸成、AT に対する機運醸成に関する知見を有するため。

### 3.2. 募集

参加者募集のため、募集チラシを作成した。



**アドベンチャートラベルコーディネーター 実地研修会**  
北海道でアドベンチャートラベルの実践を学ぼう

①事前オンライン研修  
令和6年2月16日(金) 13:30 ~ 15:30 (予定)

②実地研修(阿寒・弟子屈地区)  
令和6年2月25日(日) ~ 2月28日(水)

※①事前オンライン研修および、②実地研修両方の参加が必要です。

**開催概要**  
ATWS2023が北海道で開催され、AT推進の機運が今非常に高まっています。この機会を捉え、DMOやツアーオペレーター、ガイド等ATに関わる人同士のネットワークを構築すること、ATツアーの品質向上を目指すことを目的に実地研修会を開催します。

**対象者**  
PSAのツアーオペレーター・ATガイド、DMO、ツアーオペレーター・ATガイド、その他コーディネーターやガイドを目指したい方

**募集人数**  
10名程度

**参加費**  
実地研修3泊分宿泊費として1名36,000円(税込)および、現地までの交通手段・飲食代のご負担をお願いします。  
※交通手段のご手配が難しい方はご相談ください。

**申込方法**  
令和6年2月9日(金) 18:00 締切  
※定員に達し次第締め切らせていただきます。

下記の入力事項を【QRコード・URLから申込】【メール】のいずれか一つの方法でお申込みください。  
【入力事項】  
①所属、②住所・TEL、③申し込み者名、④E-mail、⑤当日の移動手段をお知らせください。

●QRコードまたはURLよりお申込み  
・申込URL <https://forms.gle/iRo3suLF1VDSN5oT7>  
・URLのQRコード

●メールアドレス  
E-mail: [at-info@hokkaido-takarajima.com](mailto:at-info@hokkaido-takarajima.com)  
FAX: 011-252-2117  
事務局: 株式会社北海道宝島旅行社  
観光地域づくり事業部  
担当: 常井・雨池・鈴木

※注意: 事務局からの連絡をもって申込受付完了となりますので、予めご了承ください。

北海道運輸局 主催  
「DMO やツアーオペレーター等の連携によるアドベンチャー旅行者受入拡大に向けた実証」

**実施内容**

**実地研修講師**

**鶴舞リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部長 高田 茂氏**  
1999年6月生まれ、明治大学卒業後カナダで1年間過ごし、滞在中に出る全てのアウトドアを体験。帰国後は阿寒湖温泉のホテルに入社し、海外事業部長兼任するなど欧米人マーケット開拓に携わる。2016年にATWSに初参加。以降、ATWSに限らず、Adventure Connect、Adventure Week、EDU(ガイドトレーニング)に参加している。現在は北海道にATを浸透させるべく、尽力している。

**鶴舞リゾート株式会社 営業部 副部長 高田 健右氏**  
1990年北海道阿寒湖温泉生まれ。2012年に鶴舞リゾート株式会社入社。2019年より北海道総合研究所に出身。2021年9月に開催された、アドベンチャーツーリズムの国際イベント、Adventure Travel World Summit VIRTUALのメインMCを務める。2021年11月より、鶴舞リゾート側に戻り現職に兼任し、海外事業の運営を行いながらも、アドベンチャーツーリズム関連のプロジェクトや講演も行っている。

**実地研修内容**

| 日     | 時間    | 内容   | 講師     |
|-------|-------|--|--------|
| 2月20日 | 15:40 | 阿寒湖観光センター-集合<br>※駐車場がないため、車で到着の方は申込みフォームにて事前知らせください。 | 高田 茂氏  |
|       | 16:00 | 全席MTG (研修説明、アイスブレイク) / 懇親交流                          |        |
|       | 16:30 | 終了   |        |
| 2月26日 | AM    | 当日の研修説明<br>阿寒湖観光センター-集合                              | 高田 健右氏 |
|       | PM    | 阿寒湖上トレッキング<br>ツアー終了後、懇親交流                            |        |
|       | 17:00 | 終了   |        |
| 2月27日 | AM    | 当日の研修説明 市庁舎出発<br>川島ビジターセンター<br>阿寒湖の展望                | 高田 健右氏 |
|       | PM    | 川島観光センター-集合 阿寒湖上トレッキング<br>ツアー終了 / 市庁舎、懇親交流<br>夕食 市庁舎 |        |
|       | AM    | 当日の研修説明<br>鶴舞リゾート 阿寒湖温泉<br>研修説明                      |        |
| 2月28日 | AM    | 鶴舞リゾート 阿寒湖温泉<br>研修説明                                 | 高田 健右氏 |
|       | 12:00 | 解散予定   |        |

※宿泊については、1棟貸しホテル(鶴舞阿寒テラス)を予定しております。  
シングル個室:各部屋トイレシャワー付、共用スペースにコインランドリー、共同浴場あり

- お問い合わせ -  
株式会社北海道宝島旅行社 観光地域づくり事業部  
担当: 常井・雨池・鈴木 札幌市中央区南一条西5丁目  
TEL 011-252-2115 E-mail: [at-info@hokkaido-takarajima.com](mailto:at-info@hokkaido-takarajima.com)

### 3.3. 参加者情報

募集チラシを作成し、参加を募ったところ、道内から5名、道外から3名の計8名から参加申し込みがあった。

参加者※申し込み順

| No | 所属                 | 住所   | 氏名     |
|----|--------------------|------|--------|
| 1  | 知床ねむろ観光連盟          | 中標津町 | 佐々木 亮介 |
| 2  | 一般社団法人大雪カムイミンタラDMO | 旭川市  | 若松 章彦  |
| 3  | 株式会社エゾシカ旅行社        | 札幌市  | 中根 萌   |
| 4  | 一般社団法人 稚内観光協会      | 稚内市  | 萬尾 拓巨  |
| 5  | KochiAmigo株式会社     | 高知県  | 倉知 幸一  |
| 6  | Blue Moon & Co.    | 沖縄県  | 前田 由加  |
| 7  | Outdoor Guide en   | 弟子屈町 | 荻野 峻宏  |
| 8  | 株式会社おいでなせえ         | 埼玉県  | 梅原 学   |

### 3.4. 事前研修の実施

実地研修の効果を高めることと、参加者の顔合わせを目的に、オンラインにて事前研修を実施した。

■実施日時 2024年2月16日（金）13:30～15:30

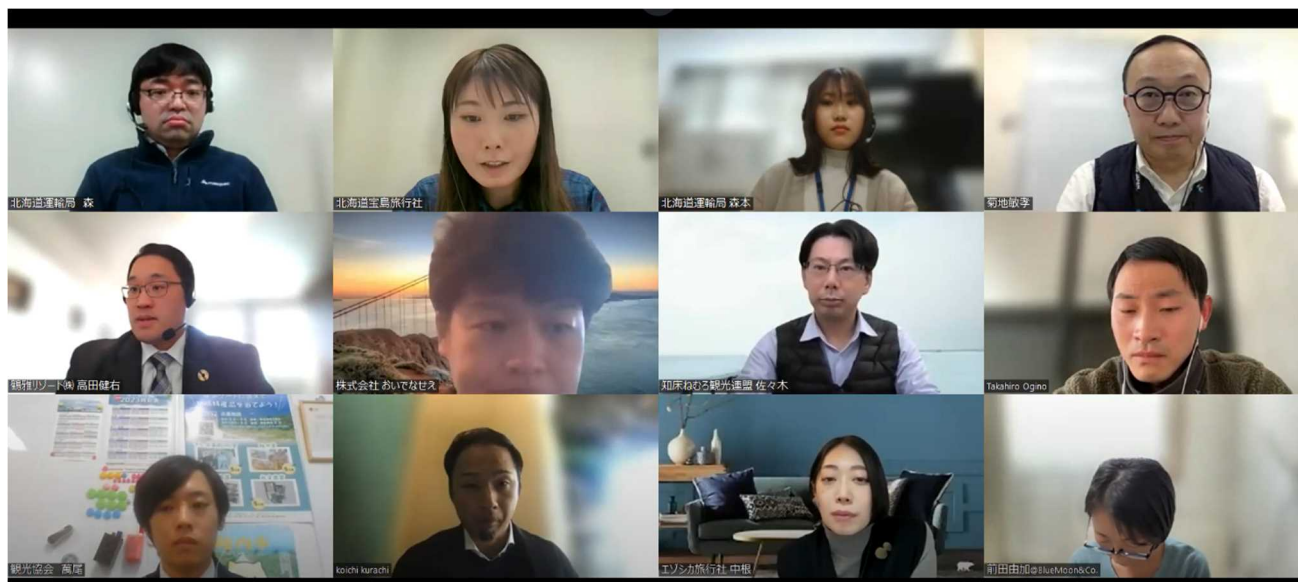
■実施場所 オンライン

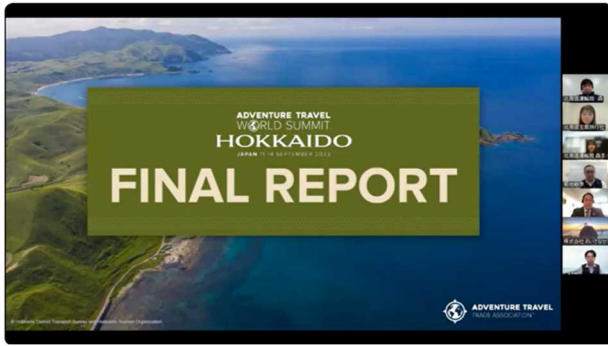
| No | 所属               | 住所   | 氏名     |
|----|------------------|------|--------|
| 1  | 知床ねむろ観光連盟        | 中標津町 | 佐々木 亮介 |
| 2  | 株式会社エゾシカ旅行社      | 札幌市  | 中根 萌   |
| 3  | 一般社団法人 稚内観光協会    | 稚内市  | 萬尾 拓巨  |
| 4  | KochiAmigo株式会社   | 高知県  | 倉知 幸一  |
| 5  | Blue Moon & Co.  | 沖縄県  | 前田 由加  |
| 6  | Outdoor Guide en | 弟子屈町 | 荻野 峻宏  |
| 7  | 株式会社おいでなせえ       | 埼玉県  | 梅原 学   |

※大雪カムイミンタラ DMO 若松氏は別研修参加のため、欠席。後日配信の映像を見ていただく。

配信 URL [https://youtu.be/2iu\\_fnX-E1E](https://youtu.be/2iu_fnX-E1E)

| 時間          | プログラム                                |
|-------------|--------------------------------------|
| 13:30       | 開会                                   |
| 13:30-13:35 | 主催者挨拶、参加者自己紹介                        |
| 13:35-14:35 | 講演① 高田氏「ATWS2023を読み解くAT旅行者のニーズとチャンス」 |
| 14:35-14:45 | 休憩                                   |
| 14:45-15:25 | 講演② 菊地氏「どこが違う？アドベンチャートラベル」           |
| 15:25-15:30 | 実地研修のご案内と研修の課題内容の発表                  |





### 【高田氏のプレゼン資料】

ATWS2023 の FINAL REPORT を活用し、実際に参加者がどのような印象を北海道に持ったのか、北海道は AT のデスティネーションになりうるのか、を解説いただいた。  
後半は、コーディネーターの役割についての解説があった。



### 【菊地氏のプレゼン資料】

アドベンチャートラベルがどのように従来の観光と異なるのか、という点について解説いただき、今後のネットワークの重要性についてお話いただいた。

### 【質問内容】 菊地氏のプレゼンの際の質問事項

■実際の AT 顧客はどのような顧客なのか。実際に北海道に来ているのか。

→実際の顧客は 40 代以上の余裕のあるお客様が多く、レベル 1-2 程度のアクティビティを好む客層である。

また、東京・京都・大阪・広島などのゴールデンルートを一通り体験したりピーターが北海道に来ている印象がある。実際にオーバーツーリズムになっている場所は忌避される傾向がみられる。

### ■実地研修時の課題について

参加者自身が、商談会（具体的には ATWS のマーケットプレイス）で自身の地域のことを全く知らない海外エージェントに対して、ツアーを販売することを想定し、その発表方法やツアーの組み立てに関する磨き上げを実施することとした。

磨き上げの方法としては、参加者自身のエリアで 2 泊～3 泊のツアーを作成いただき、その内容を最終日のワークショップにて発表し、ブラッシュアップしていく方法を取った。作成する様式については、不問としたが、普段商談を実施する機会がない参加者のために、様式を配布した。



## ■課題フォーマット

### 【モデルツアー】

※こちらは参考フォーマットになります。もしご自身でツアー紹介のためのフォーマットがございましたら、お持ちください。ツアーは既存のものでも、新規のものでも構いません。

|                  |  |      |
|------------------|--|------|
| コース名<br>(25文字程度) |  |      |
| 説明、または<br>ハイライト  |  |      |
| メインアク<br>ティビティ   |  | 難易度： |

|      |   |          |
|------|---|----------|
| 催行期間 |   | 日数： 泊 日  |
| 催行人員 | 最少催行人員  | 最大人員 10名 |
| 旅行代金 | 大人1名あたり 0000000円(税込) ※料金の算出はなくても問題ございません。<br>【含まれているもの】 |          |

#### 【地域情報】

#### 【画像】

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

#### 行程表

|     |    | アクティビティ・文化体験等のコンテ<br>ンツ<br>(食事の場合、特別食対応の可否、内容<br>等について記載してください) | ・アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事業者名、サポーター人数等<br>・移動時間、宿泊施設の形態等<br>(注1) |
|-----|----|---|---|
| 1日目 | 朝食 | -   |   |
|     | 午前 | -   |   |
|     | 昼食 |   |   |
|     | 午後 |   |   |
|     | 夕食 |   |   |

|     |    |  |
|-----|----|--|
| 2日目 | 宿泊 |  |
|     | 朝食 |  |
|     | 午前 |  |
|     | 昼食 |  |
|     | 午後 |  |
| 3日目 | 夕食 |  |
|     | 宿泊 |  |
|     | 朝食 |  |
|     | 午前 |  |
|     | 昼食 |  |
| 最終日 | 午後 |  |
|     | 朝食 |  |
|     | 午前 |  |
|     | 昼食 |  |
|     | 午後 |  |

※以下は必要に応じてご利用ください。

| ツアーの全体構成   |  |
|--|--|
| コース上における文<br>化施設や休憩所など<br>の配置状況                              |  |
| 顧客の嗜好やスキル<br>に応じた組立てやオ<br>プションの設定状況                          |  |
| 安全性  |  |
| (1)～(4)<br>全体の行程と内容、必<br>要な携行品や装備、事<br>前に取得すべき顧客<br>情報等の整備状況 | <b>■参加者が用意する装備および持ち物：</b><br><b>【必須】</b><br><b>■あれば良いもの</b><br><b>■弊社が用意する装備等：</b><br><b>■レンタル可能なもの</b><br><b>■事前に必要な顧客情報：</b> |
| ツアー催行中に予想<br>される事故や怪我に<br>対して適切な医療品<br>等が用意されている<br>か。       |  |

|   |                                |
|---|--------------------------------|
| 外国人の利用に対応<br>できる豊富なサイズ<br>のギアウェアの貸<br>出しの可否及び内容 | 可 ・ 否 ・ 検討中 (○をつけてください)<br>内容： |
| 最大催行時の代替案の<br>有無及び内容                            | 有 ・ 無 ・ 検討中 (○をつけてください)<br>内容： |

## ■参加者に配布したフォーマット利用例

### 【モデルツアー 例】

|                  |  |       |
|------------------|--|-------|
| コース名<br>(25文字程度) | 氷と雪の世界をめぐるハイキングツアー 3泊4日  |       |
| 説明、または<br>ハイライト  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳寒の気象条件で見ることができるフロストフラワーや霧氷に出会える可能性あり！</li> <li>・グリーンシーズンには出会うことができない野生生物（鷺や白鳥）に出会えたり、雪に残る足跡から動物の存在を感じる体験。</li> <li>・アイヌ文化が色濃く残る阿寒と釧路の影響がある川湯温泉、そして水の循環による恵恩を感じる道東エリアで、アクティビティを楽しむ。</li> </ul> |       |
| メインアクティビティ       | スノーシュートレッキング   | 難易度：2 |

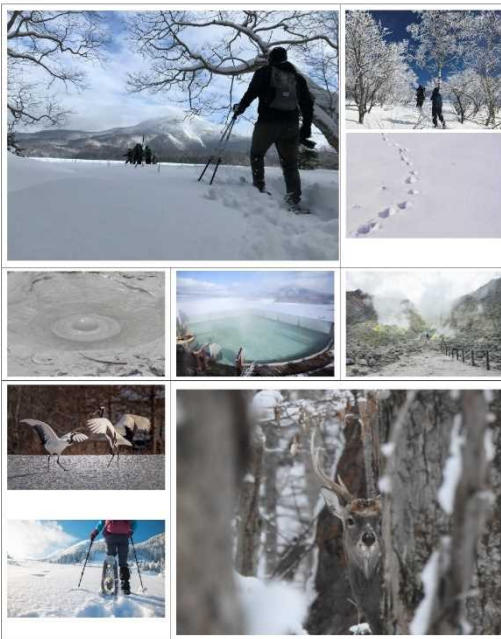
#### 【地域情報】

北海道は日本最北端の島であり、人口 520 万人を擁する日本最大の都道府県です。この地域は、西から東に約 500km/310 マイル、北から南に約 400km/250 マイル広がっています。アイヌ先住民が住むこの地域は、日本の他の地域に比べて比較的土地開発の歴史が浅く、自然やアウトドアを楽しむための広大な山や森がそのまま残されています。

北海道東部は、東京から空路でアクセスしやすいエリアです。女満別空港 (MMB) は、このツアーの出発点に最も近い空港で、東京から毎日約 5 便が運航しています（飛行時間は約 1.5 時間です）。または、積走（女満別の近く）は、札幌から電車で行くこともできます。所要時間は最低 5 時間です。



#### 【画像】



|      |  |      |     |
|------|--|------|-----|
| 旅行期間 | 冬季 1月～3月   | 日数   | 泊 日 |
| 旅行人員 | 最少旅行人員   | 最大人員 | 10名 |
| 旅行代金 | 大人1名あたり 000000円 (税込) ※料金の算出はなくても問題ございません。  |      |     |
|      | <b>【含まれているもの】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3泊分の宿泊費</li> <li>・4日分の専用車代</li> <li>・3日分の朝食、3日分の昼食、3日分の夕食</li> <li>・各種ガイド料</li> <li>・スノーシューレンタル代</li> <li>・旅行傷害保険</li> </ul> |      |     |

#### 行程表

|     |               | アクティビティ・文化体験等のコンテンツ<br>(食事の場合、特別食対応の可否、内容等について記載してください)           | ・アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事業者名、サポート人数等<br>・移動時間、宿泊施設の形態等<br>(注1)            |
|-----|---------------|---|---|
| 1日目 | 朝食            | -   |   |
|     | 午前            | -   |   |
|     | 昼食            | -   |   |
|     | 午後            | 13:10 釧路空港 合流<br>専用車で移動 1時間程度<br>14:30 阿寒エコミュージアム<br>地域概要説明とツアー説明 | ANA741便 羽田発釧路着<br>専用車で移動<br>【アクティビティ】<br>概要説明                           |
|     | 夕食            | 宿泊施設  | 時間 1時間程度  |
| 宿泊  | 阿寒テラス/阿寒ウィングス | もし、時差ぼけ等なければ、エコミュージアム周辺のボク散策                                      |   |
| 2日目 | 朝食            | 宿泊施設  | 阿寒鶴雅 SIRI   |
|     | 午前            | 9:00 阿寒鶴雅 SIRI 集合<br>阿寒湖上スノーシュー AM                                | 【アクティビティ】<br>スノーシュー<br>時間：5時間程度 (昼食含む)<br>難易度 2-3 程度<br>ほぼ平坦な道を歩く、しかし雪道 |
|     | 昼食            | 氷上にて鶴雅お弁当   |   |
|     | 午後            | 阿寒湖上スノーシュー PM   | 終了後のオプション：足湯  |
|     | 夕食            | 地元飲食店   |   |
| 宿泊  | 阿寒テラス/阿寒ウィングス |   |   |
| 3日目 | 朝食            | 宿泊施設  | 片瀬自然ガイド事務所  |
|     | 午前            | 川湯温泉街へ移動 (1時間程度)  | 【アクティビティ】   |

|     |                  |  |  |
|-----|------------------|--|--|
|     | 川湯 硫黄山を感じるスノーシュー | スノーシュー<br>時間：2時間 30分程度<br>難易度：2<br>ほぼ平坦な道、雪道 |  |
| 昼食  | 地元飲食店            |  |  |
|     | 午後               | 川湯温泉街散策                                      |  |
| 夕食  | 地元飲食店            |  |  |
|     | 宿泊               | 阿寒テラス/阿寒ウィングス                                |  |
| 最終日 | 朝食               | 宿泊施設   |  |
|     | 午前               | 阿寒国際ツルセンター<br>タンチョウ見学                        | 【アクティビティ】<br>タンチョウ見学・施設見学<br>時間：1時間程度<br>難易度：1 |
|     | 昼食               | 地元飲食店  |  |
| 午後  | 釧路空港             | ANA  |  |

※以下は必要に応じてご利用ください。

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| ツアーの全体構成                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿寒エコミュージアムセンター</li> <li>・鶴雅アドベンチャーベース SIRI</li> <li>・川湯ビジターセンター</li> <li>・阿寒アートギャラリー</li> <li>・摩周第一展望台</li> </ul>  |
| コース上における文化施設や休憩所などの配置状況     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スノーシューが実施できない体力の方については、ガイドを付けて緩やかなコースを歩くことも可能。</li> <li>・文化的体験としてイロコでのアイヌ古式舞踊や、刺繍体験なども実施可能。</li> </ul>   |
| 顧客の嗜好やスキルに応じた組立てやオプションの設定状況 |  |
| 安全性                         | <p>(1)-(4) 全体の行程と内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき顧客情報等の整備状況</p> <p>■参加者が用意する装備および持ち物：</p> <p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬のウェア上下/防寒具</li> <li>・帽子</li> <li>・手袋</li> <li>・日焼け止め</li> <li>・ゴーグル</li> <li>・スノーブーツ (くるぶしが隠れる長いもの)</li> </ul> <p>■あれば良いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スノーボール</li> <li>・カメラ/Gopro 等</li> </ul> <p>■身体が用途する装備等：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファーストエイドキット</li> <li>・スノーシュー</li> </ul> <p>■レンタル可能なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スノーブーツ</li> <li>・ウェア上下</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・帽子</li> <li>・ゴーグル</li> <li>・手袋</li> <li>■事前に必要な顧客情報： <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスポート情報</li> <li>・加入している海外旅行保険情報</li> <li>・緊急連絡先</li> <li>・持病、服用している薬</li> <li>・アレルギーの有無</li> <li>・食事制限の有無</li> </ul> </li> <li>・ガイドは各種救急における資格を保持している。</li> </ul> |
| ツアー進行中に予想される事故や怪我に対して適切な医療品等が用意されているか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上級救命/WAFA</li> <li>【救急病院】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・摩周厚生病院</li> <li>【その他の医療体制】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道立阿寒湖畔診療所</li> <li>・摩周厚生病院</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>  |
| 外国人の利用に対応できる豊富なサイズのアキアウェアの貸出し可否及び内容    | <ul style="list-style-type: none"> <li>可) ・ 否 ・ 検討中 (○をつけてください)</li> <li>※貸：スノーシュー・スキーシューどちらも外国人対応可能サイズあり。</li> <li>また、状況によってはウェア上下、ベンチコート、スノーブーツの貸し出しも可能</li> </ul>  |
| 悪天候時の代替案の有無及び内容                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>有) ・ 無 ・ 検討中 (○をつけてください)</li> <li>内容：</li> </ul>   |

### 3.5. 実地研修

#### 3.5.1. 実施行程と実施内容の詳細

行程については、ATWS2023 プレサミット・アドベンチャーにおける、「PRE 4 EAST HOKKAIDO VOLCANOES HIKING & CYCLING, 5 DAY TOUR」のテーマである「阿寒摩周国立公園の火山活動とそれによってできた地質や温泉の恵み」を活用し、冬季で実施可能なアクティビティを実施した。

##### 【選定理由】

阿寒・摩周エリアについては、地域と事業者、行政にてアドベンチャートラベルを推進しており、アクティビティや自然環境のみならず、設備や装備などアクティビティ以外の要素においても視察すべき箇所があるため選定した。

- 参加者 8名 その他関係者2名
- 添乗 株式会社北海道宝島旅行社 菊地敏孝、雨池さやか
- 移動手段 ジャンボタクシー 釧路日交ハイヤー

| 日程           | 時間  | プログラム   | 内容  |
|--------------|---|---|---|
| 2月25日<br>(月) | 15:15<br>15:20<br>16:00<br>16:00<br>17:30<br>18:30      | JR釧路駅、釧路空港組はハイヤーでピックアップ<br>阿寒湖畔エコミュージアムセンター集合<br>趣旨説明とアイスブレイク<br>終了<br>宿泊施設にて高田健右氏による講義<br>終了<br>夕食：宿泊施設にてお食事     | 阿寒摩周国立公園内の要素である「火山」「湖」「アカエゾマツなどの針葉樹林」についての基礎知識を学ぶ。  |
| 2月26日<br>(火) | 7:00<br>7:30<br>昼食<br>13:00<br>15:00<br>夕食              | 朝食<br>阿寒鶴雅アドベンチャーベースSIRI<br>阿寒湖上トレッキング<br>宿泊施設にて昼食<br>宿泊施設にて高田茂氏、高田健右氏による参加者との意見交換<br>終了<br>夕食 花ゆうか ハルデパン 夕食      | 凍った湖の上をクロスカンリースキーで歩き、火山に囲まれたカルデラを実感するツアー。阿寒地域がアドベンチャートラベルを推進している背景と、提供しているサービスを体験し、意見交換を行う。   |
| 2月27日<br>(水) | 8:45<br>10:00<br>12:30<br>13:30<br>15:00<br>16:30<br>夕食 | 当日の趣旨説明 ホテル出発<br>砂湯集合<br>屈斜路湖畔散策&硫黄山散策<br>すずめ食堂&ハル<br>川湯温泉ビジターセンター周辺散策+川湯温泉街散策<br>ツアー終了、専用車で移動<br>宿泊施設到着<br>夕食 味心 | 阿寒摩周国立公園内の一つのベースである川湯温泉の体験。弟子屈町においては、「SDGs」を主眼においた総合計画を策定し、それに従った街づくりやアクティビティの開発を行っている。また、現在開発中である道東トレイルの中心点としての整備を進んでおり、変わりゆく温泉街についても学ぶ。 |
| 2月28日<br>(木) | 9:00<br>9:30<br>11:30<br>12:00                          | 当日の趣旨説明<br>チェックアウトし、まりむ館にて振り返り研修の実施<br>終了<br>解散予定<br>釧路空港、釧路駅まで送迎   | <詳細><br>ATWSのマーケットプレイスを見据え、自身の地域について知識がない海外の旅行会社との商談のポイントを学ぶ。<br>また、自身が造成したツアーのブラッシュアップを行う。   |

※行程については記録的暖冬と当日の吹雪により、当初のアクティビティより変更した。

##### 【変更箇所】

- ・ 2日目 阿寒湖上トレッキングを9時から午前・午後で1日中実施  
→氷が阿寒湖上トレッキングを7時から午前中のみ実施、午後は高田茂氏、高田健右氏による意見交換会へ変更
- ・ 3日目 硫黄山山麓スノーシュー  
→屈斜路湖畔の散策と硫黄山散策へ変更

【1日目】

| 日程           | 時間   | プログラム   | 内 容  |
|--------------|--|---|--|
| 2月25日<br>(月) | 15:15<br>15:20<br>16:00<br>16:00<br>17:30<br>18:30 | JR釧路駅、釧路空港組はハイヤーでピックアップ<br>阿寒湖畔エコミュージアムセンター集合<br>趣旨説明とアイスブレイク<br>終了<br>宿泊施設にて高田健右氏による講義<br>終了<br>夕食：宿泊施設にてお食事 | 阿寒摩周国立公園内の要素である「火山」「湖」「アカエソマツなどの針葉樹林」についての基礎知識を学ぶ。 |



到着時、ちょうどタンチョウの給餌の時間帯だったため、阿寒国際ツルセンターに立ち寄り



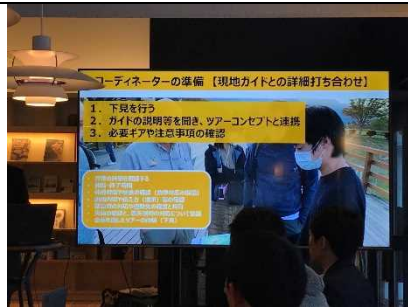
阿寒エコミュージアムセンターにてブリーフィング



宿泊施設チェックイン後、高田健右氏による AT ツアー造成のための講義



ATWS の FINAL REPORT より、農林水産業自体もアドベンチャーになりうることをお話いただいた。



コーディネーターの役割とその仕事内容についてもご教授いただいた。



夕食については、宿泊施設にて、各自の名産品を持ち寄り、全員で調理を行った。

【2日目】

| 日程           | 時間    | プログラム                        | 内 容   |
|--------------|-------|------------------------------|---|
| 2月26日<br>(火) | 7:00  | 朝食                           | 凍った湖の上をクロスカンリースキーで歩き、火山に囲まれたカルデラを実感するツアー。阿寒地域がアドベンチャートラベルを推進している背景と、提供しているサービスを体験し、意見交換を行う。 |
|              | 7:30  | 阿寒鶴雅アドベンチャーベースSIRI           |   |
|              |       | 阿寒湖上トレッキング                   |   |
|              | 昼食    | 宿泊施設にて昼食                     |   |
|              | 13:00 | 宿泊施設にて高田茂氏、高田健右氏による参加者との意見交換 |   |
|              | 15:00 | 終了                           |   |
|              | 夕食    | 花ゆうか ハルデパン 夕食                |   |



阿寒鶴雅 SIRI のオフィスで免責事項の記入と注意事項の説明を実施



クロスカンリースキーの装着を阿寒湖上で行った。



阿寒湖上のヤイタイ島までクロスカンリースキーを実施。途中、高田氏による地域の説明や各種ガイドが行われた。



ヤイタイ島に到着後は、コーヒーを淹れていただいた。



宿泊施設に戻った後は、バルデパンのパン等で昼食



高田茂氏と高田健右氏による意見交換会の実施

【3日目】

| 時間    | プログラム                    | 内 容   |
|-------|--------------------------|---|
| 8:45  | 当日の趣旨説明 ホテル出発            | 阿寒摩周国立公園内の一つのベースである川湯温泉の体験。弟子屈町においては、「SDGs」を主眼においた総合計画を策定し、それに従った街づくりやアクティビティの開発を行っている。また、現在開発中である道東トレイルの中心点としての整備も進んでおり、変わりゆく温泉街についても学ぶ。 |
| 10:00 | 砂湯集合                     |   |
|       | 屈斜路湖畔散策&硫黄山散策            |   |
| 12:30 | すすめ食堂&ハル                 |   |
| 13:30 | 川湯温泉ビジターセンター周辺散策+川湯温泉街散策 |   |
| 15:00 | ツアー終了、専用車で移動             |   |
| 16:30 | 宿泊施設到着                   |   |
| 夕食    | 味心                       |   |



摩周湖外輪山のウォークの予定だったが、吹雪のため、屈斜路湖畔に変更。砂湯に集合



氷の層が幾重にも重なっている状況。御神渡りを見に行く途中での発見。



海外の野鳥撮影ツアーの団体とバッティング。ベストショットのための餌付けという野生動物への悪影響の現場を見る。



硫黄山に移動し、片瀬氏が持つ硫黄山の歴史を記録した写真を見て、硫黄山の歴史を学ぶ。



硫黄山の観察。



昼食後は、川湯ビジターセンターでジオラマを活用し、エリアの説明を実施。



川湯ビジターセンター裏のエゾ松の森にてスノーシュー体験。



川湯温泉街の散策。地域の開発の様子や町づくりの様子をガイドいただく。



川湯の足湯につかり、終了。

## 【4日目】

| 時間    | プログラム                | 内 容   |
|-------|----------------------|---|
| 9:00  | チェックアウト              | <詳細><br>ATWS のマーケットプレイスを見据え、参加者の地域について知識がない海外の旅行会社との商談のポイントを学ぶ。<br>また、自身が作成したツアーのブラッシュアップを行う。 |
| 9:30  | まりむ館にて振り返り・ワークショップ研修 |   |
| 11:30 | 終了                   |   |
| 12:00 | 解散予定                 |   |
|       | 釧路空港、釧路駅まで送迎         |   |

### ■ワークショップの趣旨

ATWS のマーケットプレイスを想定し、参加者の地域について全く知識がない顧客に対し、コーディネーターとして商談で何をどのように伝えるとより伝わりやすくなるかをワークショップを通して学ぶ。

### ■ワークショップの時間

2時間程度

### ■準備物

課題フォーマット、各自の PC、プロジェクター

課題のフォーマットとしては、ATWS の PSA と DOA 作成のフォーマットを活用・編集し、実際の顧客が知りたいが『タイトル』『ハイライト』『開催期間』『最小・最大催行人数』といった情報を網羅したフォーマットを活用することとした。

### ■実施スケジュール（企画段階）

| 時間          | 内容  |
|-------------|---|
| 9:30        | 開始  |
| 9:30-10:15  | 2グループに分かれ、各々の行程発表とフィードバック<br>*発表時間 各5分程度                        |
| 10:15-10:30 | 休憩、ブラッシュアップ   |
| 10:30-11:15 | フィードバック内容を活かし、全体に対し各々発表<br>各発表者に対し、有識者によるフィードバック<br>*発表時間 各5分程度 |
| 11:15-11:30 | 全体フィードバック、終了  |



2つのグループに分け、参加者自身が作成したツアーの発表を、グループごとに実施。



一人ひとりのフィードバックを参加者同士とファシリテーターからいただく。



最後に全体での発表を行う。

グループ分けについては、DMO や観光協会のグループと、旅行会社やすでに現地でのコーディネート活動を行っているグループの2つに分けた。



■チーム①

| グループ No | 所属                 | 住所   | 氏名     |
|---------|--------------------|------|--------|
| ①       | 知床ねむろ観光連盟          | 中標津町 | 佐々木 亮介 |
| ①       | 一般社団法人大雪カムイミンタラDMO | 旭川市  | 若松 章彦  |
| ①       | 一般社団法人 稚内観光協会      | 稚内市  | 萬尾 拓巨  |
| ①       | Outdoor Guide en   | 弟子屈町 | 荻野 峻宏  |

■発表内容

【知床ねむろ観光連盟 佐々木氏】

**【知床ねむろ観光連盟 アドベンチャートラベルモデルツアー】**

|                  |  |       |
|------------------|--|-------|
| コース名<br>(25文字程度) | 世界自然遺産知床 流氷がもたらす豊かな恩恵を感じる 2泊3日アドベンチャーツアー   |       |
| 説明、またはハイライト      | 世界自然遺産知床羅臼の“流氷の恵み”をコンセプトにしたツアーです<br>・世界自然遺産知床の豊かな海を、流氷や漁業などの地域特性を学びながら体験<br>・希少野生動物種であるオオワシの圧倒的な迫力と知床羅臼に生息する理由<br>・地元の漁業者や飲食店が厳選した、流氷の恵みを感じる食事 |       |
| メインアクティビティ       | ・ワイルドライフウォッチング（クルーズ）<br>・スノーシューハイキング   | 難易度：3 |

|      |  |         |
|------|--|---------|
| 催行期間 | 冬季 2月～3月   | 日数：2泊3日 |
| 催行人員 | 最少催行人員：4名  | 最大人員：6名 |
| 旅行代金 | 大人1名あたり 275,000円（税込）<br>【含まれているもの】<br>・2泊分の宿泊費<br>・3日分の専用車代<br>・2日分の朝食、2日分の昼食、2日分の夕食<br>・各種体験料（スポットガイド料）<br>・スルーガイド料<br>・スノーシューレンタル料<br>・旅行傷害保険料 |         |

【地域情報】  
 知床は平成17年7月17日に世界自然遺産に登録されました。流氷が育む豊かな海洋生態系と原始性の高い陸生生態系の相互関係に特徴があります。世界的な希少種やサケ科魚類、海棲哺乳類等の重要な生息地を有することから特に高く評価されています。知床羅臼の玄関口である稚内中標津空港（SHB）は、東京（羽田）から毎日1便、札幌（丘珠/新千歳）から毎日5便が運航しており、羅臼まで車で1時間程度の場所にあります。




【画像】



行程表

|     |          | アクティビティ・文化体験等のコンテンツ<br>(食事の場合、特別食対応の可否、内容等について記載してください)                           | ・アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事業者名、サポート人数等<br>・移動時間、宿泊施設の形態等<br>(注1)             |
|-----|----------|---|--|
| 1日目 | 朝食       | -   |  |
|     | 午前       | -   |  |
|     | 昼食       | -   |  |
|     | 午後       | 14:30 根室中標津空港 合流<br>専用車で移動 1時間程度<br>15:30 知床羅臼ビジターセンター<br>地域概要と流氷の説明<br>ツアーガイドダンス | ANA377 羽田便<br><br>■ツアーガイドダンス<br>所要時間: 30分~60分<br>体験レベル: 1                |
|     | 夕食       | 宿泊施設  |  |
| 宿泊  | 羅臼町内宿泊施設 |   |  |
| 2日目 | 朝食       | 宿泊施設  | ■羅臼街歩きと羅臼神社参拝  |
|     | 午前       | 8:30 知床羅臼流氷ツアー<br>「羅臼街歩きと羅臼神社参拝」<br>10:30 知床羅臼流氷ツアー<br>「スノーシューハイキング」(前半)          | 所要時間: 120分 体験レベル: 1<br>■スノーシューハイキング<br>所要時間: 240分 体験レベル: 3<br>旧スキー場 斜面有り |
|     | 昼食       | 山小屋でアウトドアランチ  |  |
|     | 午後       | 13:30 知床羅臼流氷ツアー<br>「スノーシューハイキング」(後半)  | オプション: 熊の湯 (降天風呂)  |
|     | 夕食       | 地元飲食店「いさみ寿司」  | カウンターに座って日本の寿司体験   |
| 宿泊  | 羅臼町内宿泊施設 |   |  |
| 最終日 | 朝食       | 宿泊施設  | オプション: クルーズ早朝便 (朝日)  |
|     | 午前       | 流氷バードクルーズ   | ■流氷バードクルーズ<br>所要時間: 150分 体験レベル: 1  |
|     | 昼食       | 宝来食堂「流氷の恵み 知床羅臼BBQ」   | ■宝来食堂<br>流氷が眼前に広がる好立地で知床BBQ  |
|     | 午後       | 14:00 根室中標津空港 解散  | ANA378 羽田便   |

\*以下は必要に応じてご利用ください。

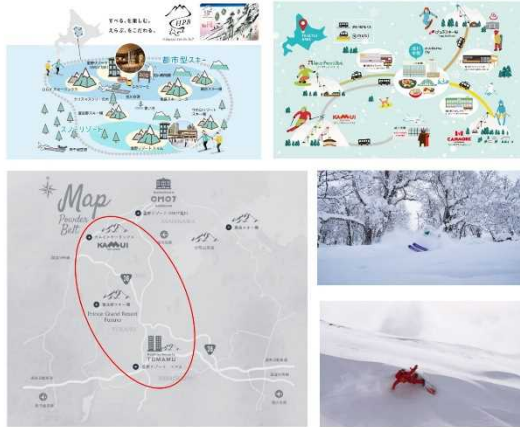
| ツアーの全体構成   |  |
|--|--|
| コース上における文化施設や休憩所などの配置状況                            | ・知床羅臼ビジターセンター<br>・道の駅知床らうす<br>・羅臼町内カフェ等  |
| 顧客の嗜好やスキルに応じた組立てやオプションの設定状況                        | ・スノーシュー体験の体力に不安があるゲストには、緩やかなコースへの変更や、文化産業体験 (羅臼昆布作業、市場見学) などに変更可能<br>・写真撮影やワイルドライフウォッチング嗜好には、オプションツアーとして早朝や夜間のツアー提供可能  |
| 安全性  |  |
| (1)~④<br>全体の行程と内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき顧客情報等の整備状況     | ■参加者が用意する装備および持ち物:<br>【必須】<br>・冬のウェア上下/防寒具、帽子、手袋<br>・日焼け止め、ゴーグル<br>・スノーブーツ (くるぶしが隠れる長いもの)<br><br>■あれば良いもの<br>・カメラ/GoPro等<br>■弊社が用意する装備等:<br>・ファーストエイドキット<br>・スノーシュー、スノーポール<br><br>■レンタル可能なもの<br>レンタル体制検討中<br>■事前に必要な顧客情報:<br>・バスポート情報<br>・加入している海外旅行保険情報<br>・緊急連絡先<br>・持病、服用している薬<br>・アレルギーの有無<br>・食事制限の有無 |
| ツアー催行中に予想される事故や怪我に<br>対して適切な医薬品<br>等が用意されている<br>か。 | ・ガイドは救急資格を保持し、FAキットを携行している (上級救命/WAFA)<br>【医療提供体制】 知床らうす国民健康保険診療所/町立中標津病院  |
| 外国人の利用に対応<br>できる豊富なサイズ<br>のギアやウェアの貸<br>出しの可否及び内容   | 可 ・ 否 ・ 検討中 (○をつけてください)<br>内容: 現地 (羅臼) での貸し出しは行っておりませんが、空港発着地 (中標津) でのレンタルを検討中です。  |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 悪天候時の代替案の有無及び内容 | 有 ・ 無 ・ 検討中 (○をつけてください)<br>内容: 悪天候で屋外のアクティビティを催行できない場合は、文化産業体験や屋内施設の見学等を実施します。 |
|-----------------|--|

【一般社団法人大雪カムイミンタラDMO 若松氏】

【北海道パウダーベルト スノーライドツアー】

|                  |  |      |
|------------------|--|------|
| コース名<br>(25文字程度) | 都市型スノーリゾート大雪圏域と北海道パウダーベルトをめぐるスノーライドツアー   |      |
| 説明、またはハイライト      | ・北海道屈指のパウダースノーを誇る大雪圏域でパウダーライドを堪能！<br>・野生生物（エゾモモンガ・エゾオソジヨ・エゾキウサギ・キタキツネ・エゾシカなど）の叫声を感じたりアニマルトラッキングでの存在確認と、普賢出会うことできない野鳥（オオワシ・オジロワシ・アカゲラなど）に出会ったりするなど北海道の大自然を体感する。<br>・北海道の中心部である地形がもたらす、ドライで限りなく不純物が少ない最良質のシルキースノーで、別格のパウダーライドを楽しむ。 |      |
| メインアクティビティ       | スキー・スノーボード   | 難易度： |



|      |   |         |
|------|---|---------|
| 催行期間 | 冬季 1月～3月  | 日数：泊 日  |
| 催行人員 | 最少催行人員 3名   | 最大人員 5名 |
| 旅行代金 | 大人1名あたり 0000000円（税込）※料金の算出はあくまでも問題ございません。<br>【含まれているもの】<br>・○泊分の宿泊費<br>・○日分の専用車代<br>・○日分の朝食、○日分の昼食、○日分の夕食<br>・各種ガイド料<br>・旅行傷害保険 |         |

【地域情報】

北海道の中心部に位置する大雪圏域は、大雪山国立公園を有する手付かずの大自然を堪能できる地域です。日本国内の高山帯では鋭角な山が多く麓から山頂までの斜面は危険を伴う状況が多く見受けられますが、大雪山連峰は比較的ならかな斜面が多く、旭岳や黒岳などではロープウェイを活用したパウダーライドが堪能できる山が多く存続します。

また、圏域内に多くのスキー場が存在し、国内有名スキー場と比較しても優れたスキー場があり多岐に渡るコースを堪能することができる環境が整っております。

【画像】



行程表

| 日数  | 朝食 | 午前 | 昼食 | 午後 | 夕食 | 宿泊 | アクティビティ・文化体験等のコンテンツ<br>(食事の場合、特別食対応の可否、内容等について記載してください) | アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事業者名、サポート人数等<br>・移動時間、宿泊施設の形態等<br>(注1) |
|-----|----|----|----|----|----|----|---|---|
| 1日目 | 朝食 | -  | -  | -  | -  | -  | OMO7 旭川   | 旭川市内  |
|     | 午前 | -  | -  | -  | -  | -  | 天候によりスキー場を選出  |   |
|     | 昼食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 午後 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 夕食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 宿泊 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
| 2日目 | 朝食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 午前 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 昼食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 午後 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 夕食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 宿泊 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
| 3日目 | 朝食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 午前 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 昼食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 午後 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 夕食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 宿泊 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
| 最終日 | 朝食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 午前 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 昼食 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |
|     | 午後 | -  | -  | -  | -  | -  |   |   |

\*以下は必要に応じてご利用ください。

ツアーの全体構成

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| コース上における文化施設や休憩所などの配置状況     | ・旭岳ビジターセンター<br>・旭岳ロープウェイ<br>・層雲峡ビジターセンター<br>・黒岳ロープウェイ<br>・カムイスキーリンクス<br>・富良野スキー場<br>・トマムスキー場   |
| 顧客の嗜好やスキルに応じた組立てやオプションの設定状況 | ・大雪山連峰の形成についての歴史的知見と北海道の地理的条件による降雪について（日本海側・と大雪圏域での条件の違いなど）のレクチャー<br>・天候状況により氷点下での気化や凍結などの実験的体験コンテンツの実施  |
| 安全性                         | ■参加者が用意する装備および持ち物：<br>【必須】<br>・アンダーウェア<br>・ミドルレイヤー<br>・アウター<br>・バックパック<br>・滑走具一式<br>・防寒具一式<br>■あれば良いもの<br>・無線<br>・ゾンデ棒<br>・カメラ<br>・スノーシュー（スノーボード）<br>・シール<br>・ピーコン<br>・携行食<br>■弊社が用意する装備等：<br>・ファーストエイドキット<br>■レンタル可能なもの<br>・スキーウェア<br>・滑走具一式<br>■事前に必要な顧客情報：<br>・パスポート情報<br>・加入している海外旅行保険情報<br>・緊急連絡先 |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・持病、服用薬</li> <li>・アレルギーの有無</li> <li>・食事制限の有無</li> </ul>   |
| ツアー催行中に予想される事故や怪我に対して適切な医薬品等が用意されているか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドは各種救急時対応における資格を保有【救急病院】</li> <li>・旭川市指定病院</li> <li>【その他の医療体制】</li> <li>・旭川市内病院数 36</li> </ul> |
| 外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸出しの可否及び内容   | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 検討中 (☑をつけてください)<br>内容：                         |
| 悪天候時の代替案の有無及び内容                        | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検討中 (☑をつけてください)<br>内容：                         |

【一般社団法人 稚内観光協会 萬尾氏】

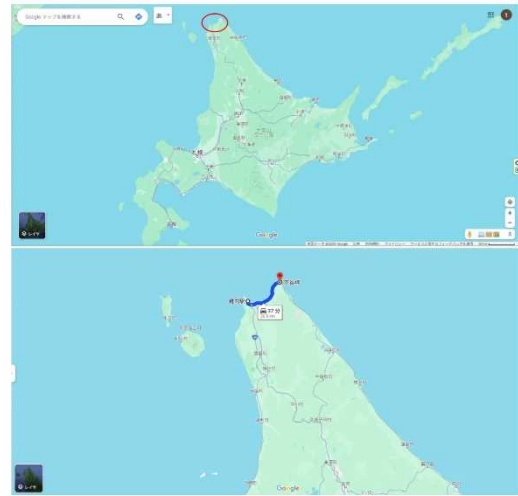
【稚内モデルツアー】

※こちらは参考フォーマットになります。もしご自身でツアー紹介のためのフォーマットがございましたら、お持ちください。ツアーは既存のものでも、新案のものでも構いません。

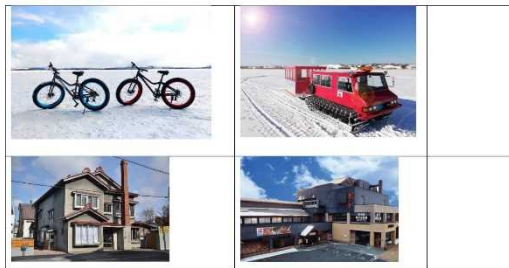
|                  |   |       |
|------------------|---|-------|
| コース名<br>(25文字程度) | 冬ってどう遊ぶの？わっかんない？冬のサイクリングで楽しむ 2泊3日   |       |
| 説明、またはハイライト      | スノーシュー、サイクリングで自然を体験<br>満天の星空のしたでテントサウナで非日常を満喫できる<br>悪天候の場合でも風速 10M 以上の猛吹雪体験 |       |
| メインアクティビティ       | サイクリング、スノーシュー   | 難易度：3 |

|      |  |           |
|------|--|-----------|
| 旅行期間 | 12月～2月   | 日数： 2泊 3日 |
| 旅行人員 | 最少旅行人員 5名  | 最大人員 10名  |
| 旅行代金 | 大人1名あたり 000000円(税込) ※料金の算出はなくても問題ございません。                         |           |
|      | 【含まれているもの】   |           |
|      | 2泊分の宿泊費  |           |
|      | 2日分の朝食、昼食、夕食   |           |
|      | 各種ガイド料<br>各種入館料<br>レンタサイクル代(2日目のみ)<br>サイクリングバス代(2日目のみ)<br>旅行損害保険 |           |

【地域情報】  
北海道は日本最北の島であり、この地域は通常訪れることが出来る日本最北のまちとなっています。日本海とオホーツク海が交わる地点でもあり、強い風による荒れ狂った海もこの地域の特徴でもあります。  
東京・札幌(新千歳)からの空路もあり、一日3便運航しております。



【画像】



行程表

|     |            | アクティビティ・文化体験等のコンテンツ<br>(食事の場合、特別食対応の可否、内容等について記載してください)                   | ・アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事業者名、サポート人数等<br>・移動時間、宿泊施設の形態等<br>(注1)    |
|-----|------------|---|---|
| 1日目 | 朝食         | -   |   |
|     | 午前         | 10:40発 羽田空港   |   |
|     | 昼食         | 稚内副港市場  |   |
|     | 午後         | 12:35着 稚内空港<br>稚内副港市場まで移動<br>稚内駅にて説明と周辺散策<br>稚内公園スノーシュー                   | ANA 羽田 10:40→稚内 12:35<br>貸切バス 20分<br>翌日のガイドから挨拶と説明<br>【アクティビティ】 |
|     | 夕食         | 味の北心 竹ちゃん   | 周辺散策+稚内公園まで移動   |
| 宿泊  | サフィールホテル稚内 | 稚内公園ではガイド付きスノーシュー   |   |
| 2日目 | 朝食         | 宿泊施設  | サフィールホテル稚内  |
|     | 午前         | 9:00 宗谷岬まで移動<br>9:40 宗谷岬着<br>10:30 宗谷ふれあい公園まで移動<br>11:10 宗谷ふれあい公園周辺サイクリング | サイクルバス 40分<br>【アクティビティ】<br>1時間程度(昼食含む)                          |
|     | 昼食         | 宗谷ふれあい公園にてお弁当   | ガイド付きサイクリング<br>氷上、アップダウン無<br>難易度：3                              |
|     | 午後         | 13:00 サイクリングにて大沼まで移動  | 【アクティビティ】<br>1時間半程度   |
|     |            |   |   |

|     |    |   |                                     |
|-----|----|---|-------------------------------------|
|     |    | 14:50 大沼氷上サイクリング<br>16:30 大沼バーニャビレッジ・テントサウナ | 大沼氷上をサイクリング<br>大沼バーニャビレッジまでサイクリング移動 |
|     | 夕食 | 市内飲食店                                       | 雪上、アップダウン無                          |
|     | 宿泊 | ファイールホテル稚内                                  | 難易度：3                               |
| 最終日 | 朝食 | 宿泊施設  | ファイールホテル稚内                          |
|     | 午前 | 9:00 旧瀬戸邸<br>10:00 稚内副港市場                   | 旧瀬戸邸と稚内副港市場(樺太記念館)で稚内の歴史を知る         |
|     | 昼食 |   | 旧瀬戸邸のみガイド付き                         |
|     | 午後 | 13:10 発 稚内空港                                |                                     |
|     | 夕食 | -   |                                     |
|     | 宿泊 | -   |                                     |

\*以下は必要に応じてご利用ください。

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| ツアーの全体構成                    |  |
| コース上における文化施設や休憩所などの配置状況     | 稚内副港市場<br>稚内駅<br>宗谷岬展望施設<br>宗谷ふれあい公園<br>大沼バードハウス<br>旧瀬戸邸   |
| 顧客の嗜好やスキルに応じた組立てやオプションの認定状況 | 氷上サイクリングなどサイクリングからスノーシューまたは赤くスキーに変更可能  |
| 安全性                         | <p>(1)-①</p> <p>■参加者が用いる装備および持ち物：<br/>【必須】<br/>冬のウェア上下/防寒具<br/>帽子<br/>手袋<br/>スノーブーツ<br/>日焼け止め<br/>■あれば良いもの<br/>サングラス<br/>カメラ<br/>■弊社が用意する装備等<br/>自転車</p> |

|  |   |
|--|---|
|  | ヘルメット<br>膝あて、肘あて<br>救急セット<br>■レンタル可能なもの<br>防寒具<br>スノーブーツ<br>■事前に必要な顧客情報：<br>パスポート情報<br>加入している海外旅行保険情報<br>緊急連絡先<br>持病、服用している薬<br>アレルギーの有無<br>食事制限の有無<br>身長 |
| ツアー催行中に予想される事故や怪我に<br>対して適切な医薬品<br>等が用意されている<br>か。 | 救急病院：稚内市立病院<br>その他医療体制：稚内徳心会病院  |
| 外国人の利用に対応<br>できる豊富なサイズ<br>のギアやウェアの貸<br>出しの可否及び内容   | 可・否・ <del>検討</del> (○をつけてください)<br>内容：   |
| 悪天候時の代替家の<br>有無及び内容                                | 有・無・ <del>検討</del> (○をつけてください)<br>内容：   |

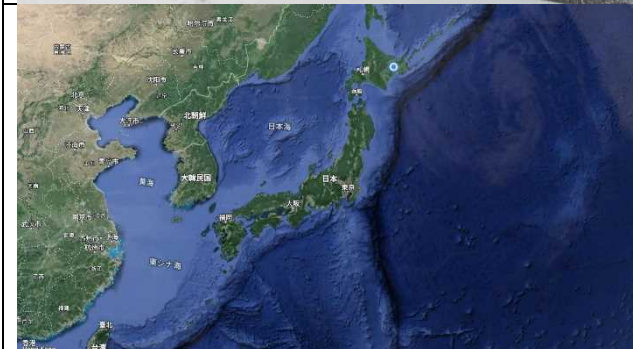
## 【Outdoor Guide en 萩野氏】

### 冬の火山と森と湖を巡るスノーシュー・カヌー 3泊4日



## テーマ

### 火山と森と湖を巡るネイチャーツアー



### ましゅうくつしやろ 摩周屈斜路

#### 概要

阿寒摩周国立公園に位置し、摩周湖、屈斜路湖、破火山などの火山活動により形成された地形が特徴。夏はカヌーやハイキング、キャンプ、冬は野生動物観察やスノーシューなどのアクティビティが人気。アイヌ文化や火山地帯特有の温泉なども魅力の一つ。





火山活動によりカルデラと豊かな森が作られた

カルデラに降った雨や雪は森によって濾過され湖を成している

そして、その水はここに生きるものの生命の源となっている

それが私たちの暮らす「火山と森と湖の国立公園」

**ツアー行程**

**Day 1**  
PM 川湯ビジターセンター

**Day 2**  
AM 藻琴山スノーハイキング  
PM 湖上ウォーク&池の湯

**ツアー行程**

**Day 3**  
AM 硫黄山麓スノーハイキング  
PM 川湯温泉街散策

**Day 4**  
AM 釧路川源流カヌー

【フィードバック内容（株式会社北海道宝島旅行社雨池氏よりフィードバック）】

- ・ 佐々木氏  
「なぜここでこの体験をするのか」の理由付けがあって良い。また、印象深い写真があり、それだけで興味を引くことができている。  
人が人の話に興味を持っていただけるのは、最初の3分。そこに自分は何者か、タイトル、ハイライト、アクティビティ、興味を引くもの・売りたいものを伝えきる必要がある。
- ・ 若松氏  
「なぜここでこの体験をするのか」の理由付けがあって良い。若松氏自身がスキーやスノーアクティビティをやっているので、頼りがいのあるプレゼンであった。  
しかし、一方で地名が多く出ており、海外の人々にとって地名は覚えにくいいため、数字や広さに置き換えると良い。
- ・ 萬尾氏  
タイトルはものすごく良い。確かに稚内で何ができるかわからないため、コーディネーターを活用する必要があると感じた。  
しかし、なぜ、テントサウナをそこでやるのか・そのアクティビティをやるのか？等の理由付けが弱い。サウナやスノーシューは正直どこでもできてしまう。そのため、「最北の」というアプローチで行けばよいのではないか。  
\*誇大表示としては、根拠なく『最も』等の表現を使うことがNGである。が、最大『級』や『当社調べ』などの逃げの文言も使える場合があるので、景品表示法を調べてほしい。
- ・ 荻野氏  
Google Mapで地形レイヤーを活用し、立体感のある地図を利用した点が非常に良い。地形や距離感が非常にわかりやすい。登山やサイクリングは非常に上り下りの様子を知りたがる。  
また、地形の成り立ちの歴史やアイヌ民族の歴史等を組み込んでいたが、外国の人には日本の歴史を説明することは非常に難しい。対比させる国の歴史を用いて説明を行う必要がある。



■チーム②

| グループ<br>No | 所属              | 住所  | 氏名    |
|------------|-----------------|-----|-------|
| ②          | 株式会社エゾシカ旅行社     | 札幌市 | 中根 萌  |
| ②          | KochiAmigo株式会社  | 高知県 | 倉知 幸一 |
| ②          | Blue Moon & Co. | 沖縄県 | 前田 由加 |
| ②          | 株式会社おいでなせえ      | 埼玉県 | 梅原 学  |

■発表内容

【株式会社エゾシカ旅行社 中根氏】

|  |   |                         |  |  |             |   |  |  |            |          |       |  |      |        |          |      |           |         |      |   |  |  |
|--|---|-------------------------|--|--|-------------|---|--|--|------------|----------|-------|--|------|--------|----------|------|-----------|---------|------|---|--|--|
| <p style="text-align: center;"><b>【モデルツアー】</b></p> <p>※こちらは参考フォーマットになります。もしご自身でツアー紹介のためのフォーマットがございましたら、お持ちください。ツアーは既存のものでも、新規のものでも構いません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コース名<br/>(25文字程度)</td> <td colspan="3">さっぽろローカル酒クロール（キャンプ&amp;ハイク）</td> </tr> <tr> <td>説明、またはハイライト</td> <td colspan="3">近代的な都市と自然との距離が近いという札幌独自の魅力は、世界的に見ても稀有なバランスを保っています。本ツアーはキャンプ&amp;ハイクを通して、この土地に住む人々の営みとその魅力をダイレクトに感じる都市型アドベンチャーです。ある地域の独自性を示す要素のひとつ「地酒＝ローカル酒」をテーマに、多様な酒文化を楽しみます。市街中心部から「札幌の奥座敷」と呼ばれ市民にも愛される温泉街・定山渓を目指します。</td> </tr> <tr> <td>メインアクティビティ</td> <td>キャンプ&amp;ハイク</td> <td>難易度：3</td> <td></td> </tr> </table> <p>※コース名は「pub crawl」から着想を得ています。いわゆるはしご酒を指しますが、特に参加者が一泊に数ヶ所のバーなどを回り交流をはかることで一体感を感じながら楽しむものです。本ツアーは、地酒（ローカル酒）が楽しめる場所を参加者と巡るイメージから「ローカル酒クロール」と名づけました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>催行期間</td> <td>4月～10月</td> <td>日数：2泊 3日</td> </tr> <tr> <td>催行人員</td> <td>最少催行人員 2名</td> <td>最大人員 8名</td> </tr> <tr> <td>旅行代金</td> <td colspan="2">大人1名あたり 000000円（税込）※料金の算出はなくても問題ございません。<br/>【含まれているもの】</td> </tr> </table> <p><b>【地域情報】</b><br/>北海道のゲートウェイ・札幌は、近代的な都市と自然のどちらもが身近にある、世界でも稀有なバランスが楽しめるまちです。このツアーでは、東京からのアクセスも良い札幌中心部から、「札幌の奥座敷」と呼ばれ地域住民に長く愛される温泉街・定山渓を目指します。</p> <p>ハイキングとキャンプを通して札幌の地勢的な理解を深め、この土地に暮らす人々の営みとその魅力を直接体感することができます。その土地の個性を示す要素のひとつ「地酒」をテーマに、多様な酒文化を楽しみます。</p> <p><b>【画像】</b></p> | コース名<br>(25文字程度)  | さっぽろローカル酒クロール（キャンプ&ハイク） |  |  | 説明、またはハイライト | 近代的な都市と自然との距離が近いという札幌独自の魅力は、世界的に見ても稀有なバランスを保っています。本ツアーはキャンプ&ハイクを通して、この土地に住む人々の営みとその魅力をダイレクトに感じる都市型アドベンチャーです。ある地域の独自性を示す要素のひとつ「地酒＝ローカル酒」をテーマに、多様な酒文化を楽しみます。市街中心部から「札幌の奥座敷」と呼ばれ市民にも愛される温泉街・定山渓を目指します。 |  |  | メインアクティビティ | キャンプ&ハイク | 難易度：3 |  | 催行期間 | 4月～10月 | 日数：2泊 3日 | 催行人員 | 最少催行人員 2名 | 最大人員 8名 | 旅行代金 | 大人1名あたり 000000円（税込）※料金の算出はなくても問題ございません。<br>【含まれているもの】 |  |   <p>DAY1</p>  <p>DAY2</p>  <p>DAY3</p>  |
| コース名<br>(25文字程度)   | さっぽろローカル酒クロール（キャンプ&ハイク）   |                         |  |  |             |   |  |  |            |          |       |  |      |        |          |      |           |         |      |   |  |  |
| 説明、またはハイライト  | 近代的な都市と自然との距離が近いという札幌独自の魅力は、世界的に見ても稀有なバランスを保っています。本ツアーはキャンプ&ハイクを通して、この土地に住む人々の営みとその魅力をダイレクトに感じる都市型アドベンチャーです。ある地域の独自性を示す要素のひとつ「地酒＝ローカル酒」をテーマに、多様な酒文化を楽しみます。市街中心部から「札幌の奥座敷」と呼ばれ市民にも愛される温泉街・定山渓を目指します。 |                         |  |  |             |   |  |  |            |          |       |  |      |        |          |      |           |         |      |   |  |  |
| メインアクティビティ   | キャンプ&ハイク  | 難易度：3                   |  |  |             |   |  |  |            |          |       |  |      |        |          |      |           |         |      |   |  |  |
| 催行期間   | 4月～10月  | 日数：2泊 3日                |  |  |             |   |  |  |            |          |       |  |      |        |          |      |           |         |      |   |  |  |
| 催行人員   | 最少催行人員 2名   | 最大人員 8名                 |  |  |             |   |  |  |            |          |       |  |      |        |          |      |           |         |      |   |  |  |
| 旅行代金   | 大人1名あたり 000000円（税込）※料金の算出はなくても問題ございません。<br>【含まれているもの】   |                         |  |  |             |   |  |  |            |          |       |  |      |        |          |      |           |         |      |   |  |  |



本ツアーは平坦な道を約25km、3日かけてキャラバンのようにキャンプしながら移動するツアーです。

行程表

|     |             | アクティビティ・文化体験等のコンテンツ<br>(食事の場合、特別食対応の可否、内容等について記載してください)         | ・アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事業者名、サポート人数等<br>・移動時間、宿泊施設の形態等<br>(注1)       |
|-----|-------------|---|--|
| 1日目 | 朝食          | -   | ・さっぽろテレビ塔展望台から街並みを外観し、本ツアーの趣旨を説明します。                               |
|     | 午前          | 10:00 JR 札幌駅出発<br>さっぽろテレビ塔<br>COCONO SUSUKINO<br>「すすきのえーるスタンド」  | ・新たな観光スポット「COCONO SUSUKINO」内「すすきのえーるスタンド」でスキノ倶楽部ビール「すすきのえーる」を飲みます。 |
|     | 昼食          | 二条市場内「たけ江鮎」   | ・昼食は人気の観光スポット「二条市場」で地元客に愛される名店「たけ江鮎」の絶品鮎りをいただきます。                  |
|     | 午後          | ハイク   | 明治5年創業の札幌唯一の酒場「千歳楼」  |
|     | 夕食          | BBQ「紅樓蒸溜所クラフトジン」  | でこの地に根差した日本酒を味わい、豊平川や北海道の酒米に触れます。                                  |
| 宿泊  | 紅樓アウトドアガーデン | 10:00 出発<br>札幌道川都市環境林<br>・良有林を公有化した樹林地「札幌道川都市環境林」で、都市と森の距離感を体感し |  |
| 2日目 | 朝食          | デリ(キャンプ場)   |  |
|     | 午前          | 10:00 出発 ハイク<br>札幌道川都市環境林<br>石山緑地                               |  |

|     |                   |  |
|-----|-------------------|--|
| 昼食  | ほすとかん(旧石山郵便局)     | ます。<br>・ユニークな景観が楽しめる石山緑地では札幌軟石との関わりに触れながら、岩肌の造形美と周囲と調和するアート作品を堪能します。<br>・昼食は札幌軟石でできた歴史的建造物を活用したカフェで地元食材を使用したメニューを飲みます。 |
| 午後  | ハイク               | ・おやつとして、「地酒仙丸」に併設する「ジェラート札幌菓林街」であわもり、日本酒、いも焼酎などお洒入りジェラートをどうぞ。  |
| 夕食  | 八剱山キッチン&マルシェ      | ・ブドウ畑に隣接するキャンプ場では、自社や近隣農家が生産したブドウやリンゴを使用したローカルワインが楽しめます。   |
| 宿泊  | 八剱山ワイナリー 焚き火キャンプ場 |  |
| 最終日 | 朝食                | デリ(キャンプ場)  |
|     | 午前                | 八剱山 登山   |
|     | 昼食                | カフェと石窯パンのお店 あゆんぐ   |
|     | 午後                | 小金湯温泉<br>ハイク   |
|     | 夕食                | -  |
|     | 宿泊                | -  |

ハイライト

- ・都市と近接した自然の中で札幌を象徴する「CraftGin9148」を楽しむ
- ・豊かな緑と星空のもとでローカルワイン&焚き火を堪能
- ・それまで歩いてきた道のりを振り返る岩峰・八剱山からの眺め

\*以下は必要に応じてご利用ください。

| ツアーの全体構成                |   |
|-------------------------|---|
| コース上における文化施設や休憩所などの配置状況 | 1日目: さっぽろテレビ塔、COCONO SUSUKINO、千歳酒造ミュージアム、紅樓アウトドアガーデン<br>2日目: 札幌道川都市環境林、八剱山キッチン&マルシェ、八剱山ワイナリー 焚き火キャンプ場 |

|   |  |
|---|--|
| 顧客の嗜好やスキルに応じた組立てやオプションの設定状況             | 3日目: 小金湯温泉<br>・参加者の嗜好及び体力などスキルに合わせた柔軟な内容変更が可能です。<br>・体調不良などツアーへの参加を継続することが難しい場合は、車でお迎えし上がるなどバックアップ体制を整えています。   |
| 安全性                                     | <p>(1)~④<br/>全体の行程と内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき顧客情報等の整備状況</p> <p>■参加者が用意する装備および持ち物:<br/>【必須】<br/>・着替え、洗面道具などキャンプ(宿泊)に必要な用品<br/>・軽登山が可能なトレッキング用装備一式<br/>■あれば良いもの<br/>・ヘルメット<br/>・八剱山登山において、必要に応じて軍手を貸し出します。<br/>■レンタル可能なもの<br/>・キャンプギア及び調理器具は各キャンプ場で貸出します。<br/>■事前に必要な顧客情報:<br/>・ハイキング経験の有無<br/>・持病・服用している薬<br/>・アレルギーの有無<br/>・食事制限の有無</p> |
| ツアー進行中に予想される事故や怪我等に対して適切な医療品等が用意されているか。 | ・当ツアーのガイドは、北海道アウトドアガイド制度の推奨するファーストエイドキットを常備します。<br>・AEDが必要な場合、各施設に設置されたAEDを使用します。<br>・管轄する消防署に事前に連絡し、事故が発生した場合に早急な対応がとれる体制をとります。   |
| 外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸出しの可否及び内容    | ・ 否 ・ 検討中 (○をつけてください)<br>内容:<br>キャンプギア及び調理器具は各キャンプ場で貸出します。<br>1日目/紅樓アウトドアガーデン<br>テント、椅子、テーブル、シュラフ、ウレタンマット、真空ハイブリッドコンテナ、食器(小判皿、丸型小分付皿、レジャーどんぶり、レジャーカップ)、割り箸がツアーに含まれます。<br>*オイルランタン、焚き火台などオプションで貸出可能なギアもあります。<br>2日目/八剱山ワイナリー 焚き火キャンプ場<br>テント、タープ、焚き火台、椅子、ランタン、自転車、薪、炭、着火剤、コンロ用アミ、食器類がツアーに含まれます                                      |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | *サウナテントの貸出しも可能です。  |
| 悪天候時の代替案の有無及び内容 | ・ 無 ・ 検討中 (○をつけてください)<br>内容: 原則、雨天決行です。ただし、実施に危険を伴うと判断された場合は、屋外でのアクティビティを控え、屋内のガイドツアーをメインにして対応します。キャンプ泊からホテル泊に切り替える可能性もあります。 |

【モデルツアー】

※こちらは参考フォーマットになります。もしご自身でツアー紹介のためのフォーマットがございましたら、お持ちください。ツアーは既存のものでも、新案のものでも構いません。

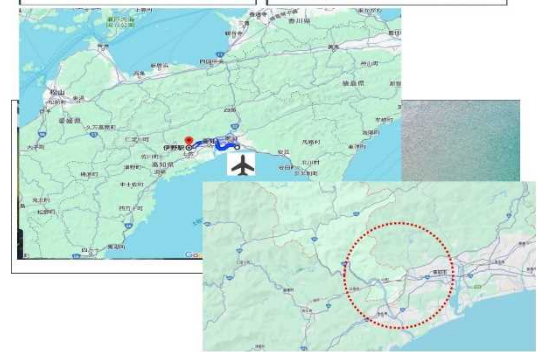
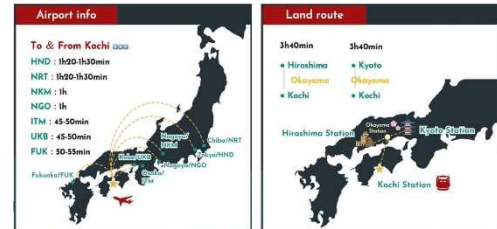
|                  |   |           |
|------------------|---|-----------|
| コース名<br>(25文字程度) | 1000年の歴史を誇る土佐和紙の歴史と文化を巡る旅 (2泊3日)<br>Japanese Craft Paper & Ebike Tour   |           |
| 説明、またはハイライト      | 世界的にも品質が高く、マテリアルとしても古紙としても競争力の高い日本の紙技術。そのルーツの1つであり、日本三大和紙産地の1つでもある土佐和紙の歴史と文化を学び、体験ができる2泊3日間のアドベンチャーツアーです。約1,400年以上という歴史のなかで、今なお先人の技術や知恵を引き継ぎ、和紙を作り続ける職人が高知県の町にいます。この「紙の町」とも称されるこの町を舞台に、「なぜこの町は紙産業が栄えたのか。その理由を解き明かしていきます。日本屈指の美しさと名高い清流仁淀川が流れ、のどかな農村地域や景勝地が点在するこの地をe-bikeで散策しながら、日本の伝統工芸や自然体験、地元の人々との交流を楽しみます。 |           |
| メインアクティビティ       | 土佐和紙の紙漉き&書道体験 (異文化交流)   | 難易度: 1    |
| 開催期間             | 3~11月 (冬季は開催せず)   | 日数: 2泊 3日 |
| 催行人員             | 最少催行人員 2名   | 最大人員 8名   |
| 旅行代金             | 大人1名あたり、165,000円 (税込) ※料金の算出はなくても問題ございません。<br>【含まれているもの】<br>全てのガイド、アクティビティ代、eバイクレンタル代<br>ホテル宿泊代2泊分 朝食2回 ランチ3回 デイナー2回<br>旅行傷害保険  |           |

【地域情報】

高知県は四国の南側に位置し、太平洋を抱くように東西に広がります。東西の海岸線の長さは713kmあり、全国1位の長さとなります。四万十川や仁淀川といった清らかな水と、約84%が森林に覆われた山々に囲まれ豊かな自然が広がっています。特に、仁淀川は、日本で最もきれいな川の一つとして有名であり、自然愛好家の遊び場となっています。キャンプやBBQ、カヌー、SUP、釣りなど多くの人が楽しんでいます。

また、高知県は温暖湿潤な気候です。高知市を中心とした県央地域の平均気温は17.8℃、夏の最高気温は37℃程度になります。冬は平地では比較的暖かいです。山間部では寒さが厳しく、雪もたくさん降ります。東京や大阪からは飛行機で1~2時間ほどとなり、電車では京都から約3時間40分ほどで行くことができます。

この町は高知県の中央からやや西側に位置し、高知県の中心地、高知市内から電車と車でアクセス可能です。JR線で約20分~40分、車は約30分で行けます。また、高知龍馬空港からも高速道路を使えば約30分で行けます。



行程表

|     |   |  |
|-----|---|--|
|     | アクティビティ・文化体験等のコンテンツ<br>(食事の場合、特別食対応の可否、内容等について記載してください) | ・アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事業者名、サポート人数等<br>・移動時間、宿泊施設の形態等<br>(注1) |
| 1日目 | 朝食<br>午前 9:30 JR高知駅 合流<br>10:30 紙の博物館 見学                | JR高知駅-伊野駅まで電車移動<br>【アクティビティ】                                 |

|     |   |   |
|-----|---|---|
|     | ツアー概要紹介、安全管理の説明<br>土佐和紙の歴史や製造工程などを学ぶ                                  | 時間は1時間程度  |
|     | 11:30 土佐七色紙発祥の村へ<br>Ebikeに乗り換え、山頂サイクリング                               | 時間、1時間程度、約10km程度<br>難易度2~3、体力に自信のない方は乗用車で山頂へ  |
| 昼食  | 12:30<br>山頂でピクニック (おにぎりなど)  | 高知の伝統料理、血縁料理のお皿に盛り付けて提供、ベジタリアン対応可   |
| 午後  | 14:00 土佐七色紙の里を散策  | 地元ガイドから当時の歴史を伺いながらかつて土佐和紙で栄えた村を散策   |
| 夕食  | 宿泊施設にて  |   |
| 宿泊  | 亀の井ホテル  |   |
| 2日目 | 朝食<br>午前 9:15 ホテル前集合<br>清流仁淀川のリバーサイドをebikeでサイクリング<br>途中、名越下橋でコーヒープレイク | 【アクティビティ】<br>時間は1時間半程度、約15km程度<br>難易度2、体力に自信のない方は乗用車で移動   |
| 昼食  | KOKAGE Villa Fukuya   | 地元人気のリバーサイドカフェでコース料理を堪能、ベジタリアン対応可   |
| 午後  | 12:30 土佐和紙ワークショップ<br><br>15:00 書道ワークショップ                              | 【アクティビティ】<br>時間は2時間程度<br>土佐和紙の製造工程を学び、一部体験することでオリジナルの和紙を作る<br>時間は1時間半程度<br>作った和紙で書道体験をする。漢字の成り立ちを学ぶ |
| 夕食  | 清流、仁淀川でBBQ  | 高知の名物料理、狸のたたき体験と新鮮な鯉の美味を堪能。BBQはお客様の要望に合わせ、高知産の食材を準備   |
| 宿泊  | 土佐和紙工芸村 QRAUD   |   |
| 最終日 | 朝食<br>午前 9:30 仁淀川でカヌー体験   | 【アクティビティ】   |

|    |       |                    |  |
|----|-------|--------------------|--|
|    |       | 11:30 河原古り釣り&植生ガイド | 時間は2時間程度、難易度2<br>体力に自信のない方は乗用車で移動<br>時間は1時間程度。<br>仁淀川に生息する“鱒”という小さな魚<br>を釣るために、簡単な仕掛けを一緒に<br>作る。   |
| 昼食 | 13:00 | オリジナルお弁当           | 昔、土佐和紙の商談で使用されてい<br>たと言われる日本家屋で食べる   |
| 午後 | 14:30 | 街中ウォーキング           | 【アクティビティ】<br>時間は2時間程度、難易度1<br>土佐和紙の製産販売で栄えたこの町<br>の街並みを当時の名残が残る場所を<br>めぐりながら、終点の場所、とまで<br>人伊野駅まで歩く |
|    |       | 16:30 路面電車でJR高知駅へ  |  |
|    |       | 17:30 JR高知駅で解散     |  |

【初日】



【2日目】



【3日目】



※以下は必要に応じてご利用ください。

|                         |  |
|-------------------------|--|
| ツアの全体構成                 |  |
| コース上における文化施設や休憩所などの配置状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町紙の博物館</li> <li>・鹿島製紙株式会社</li> <li>・土佐和紙工芸村 QRAUD</li> <li>・琴風亭</li> </ul> |

|   |  |
|---|--|
| 顧客の嗜好やスキルに応じた組立てやオプションの設定状況                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初日は高知駅付近で前泊いただき、高知市内ツアーを想定。お客様の要望があれば bar hopping などが高知の夜をご案内。</li> <li>・町内にある果樹園や農家さんと連携し、収穫ツアーなど季節限定で開催が可能</li> </ul>  |
| 安全性   |  |
| (1)~④ 全体の行程と内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき顧客情報等の整備状況 | <p>■参加者が用意する装備および持ち物：</p> <p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングに適した服装</li> <li>・歩きやすい靴（スニーカーなどでOK）</li> <li>・帽子</li> <li>・水着</li> <li>・雨具</li> </ul> <p>■あれば良いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックパック</li> <li>・日焼け止め</li> <li>・サングラス</li> <li>・ボトル（500ml用など）</li> <li>・ハンドタオル（バスタオルは宿泊先でご準備します）</li> <li>・常備薬</li> </ul> <p>■弊社が用意する装備等：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ebike、ヘルメット</li> <li>・ファーストエイドキット</li> <li>・虫除けスプレー</li> </ul> <p>■レンタル可能なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエットスーツ</li> <li>・リバーシューズ</li> </ul> <p>■事前に必要な顧客情報：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスポート情報</li> <li>・加入している海外旅行保険</li> <li>・緊急連絡先</li> <li>・持病、服用している薬など</li> <li>・アレルギーの有無</li> <li>・食事制限の有無</li> </ul> |
| ツアー催行中に予想される事故や怪我に対して適切な医薬品                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートガイドは上級救命の資格を保有</li> <li>【救急病院】</li> </ul>  |

|   |   |
|---|---|
| 等が用意されているか、外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸出しの可否及び内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町立国民健康保険仁淀病院</li> <li>・医療法人関本会さくら病院</li> </ul> <p>可</p> <p>内容：ebikeはS、M、Lサイズと準備</p> |
| 悪天候時の代替案の有無及び内容                                 | <p>有</p> <p>内容：<br/>雨天などにより、サイクリングやカヌーができない場合は、土佐打刃物の職人さんを訪問するコンテンツを検討</p>  |

【モデルツアー】

|                 |   |                |
|-----------------|---|----------------|
| コース名            | Discover the Kuroshio 黒潮の息みを体感する亜熱帯の旅・4日間   |                |
| 説明,または<br>ハイライト | <b>【ハイライト】</b><br>・北半球最大級の珊瑚礁エリア「石西礁湖」でのシュノーケリング<br>・世界自然遺産・生物多様性を誇る西表でハイキング<br>・伝統的木造船「サバニ」を漕いで海から川へマングローブ散策<br><br>八重山諸島に広がる石西礁湖(せきせいしゅうこ)は、オーストラリアのグレートバリアリーフを上回る種類のサンゴが生息することが確認されている豊かな海。世界で最も海洋生物の多様性の高い「コーラルトライアングル」から流れ込む黒潮は、人々の暮らしを支える八重山に欠かせない存在です。島々には豊かな森が広がり、森に保たれた水は川となり、マングローブ城を抜けて豊かな海に流れ、サンゴの海を育みます。珊瑚礁は生態系の根幹を成すものであり、また、島を守る防波堤の役割も果たしています。この旅では、そんな自然の恩恵と、そこで生まれ根付いてきた八重山の文化や暮らしを体感する4日間を特別にコーディネートします。 |                |
|                 | メインアクティビティ  | シュノーケリング 難易度：3 |
| 催行期間            | 3～11月、主に4月～6月9月～10月を推奨  | 宿泊日数：3泊4日      |
| 催行人員            | 最少催行人員 4名 最大人員 6名   |                |
| 旅行代金            | 大人1名あたり 円(税込) 送料金の算出はなくても問題ございません。  |                |
|                 | <b>【含まれているもの】</b><br>行程に記載のある移動体験費用 / ガイド料 / アクティビティ体験料<br>・3泊分の宿泊費<br>・4日分の専用車代<br>・3日分の朝食、昼食、夕食<br>・各ガイド料<br>・各アクティビティに必要な器材レンタル代<br>・旅行傷害保険<br><br><b>【含まれていないもの】</b>  |                |

【地域情報】

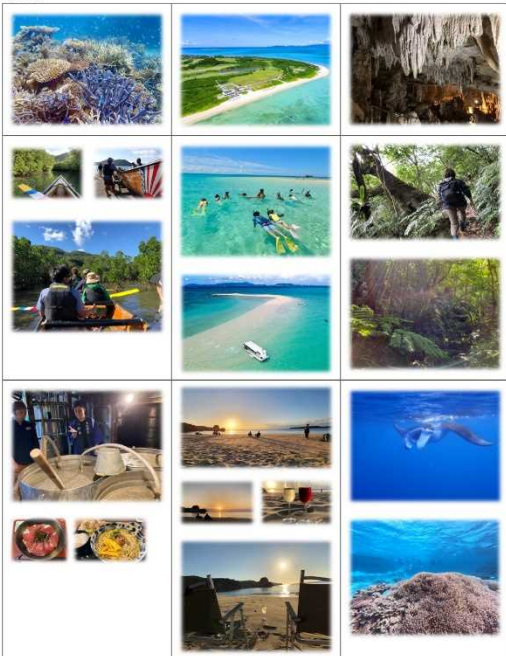


沖縄県八重山諸島は日本最南端、最西端の有人島を含む12の有人島と多数の無人島からなるエリアです。東京から南西へ約1900km/1200マイル、属する沖縄県の那覇市から約400km/250マイル離れていますが、隣国の台湾からは約280km/170マイルの距離にある国境に近いエリアです。北緯24度に位置し、近海を流れる黒潮の影響を大きく受けて北半球最大級の珊瑚礁が発達し、亜熱帯性気候に属します。中心となる石垣島とエリア最大の西表島は200平方キロメートルを超え、標高500mほどに達する山を有する高島で河川も発達しています。日本の他の地域と比べて年間を通じて温暖で、透明度の高い海はダイビングサイトとしても長年日本人の人気を誇り、西表石垣国立公園でもある西表島は、生物多様性が認められた世界自然遺産にも登録されています。

また沖縄は15世紀から1879年まで約450年もの間独立した王国としてアジアの国々との交易を通じて様々な文化が育まれた国であり、その後1945年の第二次世界大戦敗戦後は1972年までアメリカの統治下に置かれていました。これらの影響を受け、日本本土とは違った様々な文化や歴史、信仰が混在しており、現在に継承されています。

八重山諸島の入り口は石垣島で、日本本土の主要な国際空港から毎日各1-2便の直行便が運行しており、沖縄本島那覇空港を経由すると、日本全国の地方空港や、アジアの主要都市からの国際線からの乗り継ぎも可能です。飛行時間は東京からは約3時間、那覇空港からは約1時間(香港から那覇空港は約3時間)です。各島へは機はなく、高速船を利用して移動します。

【画像】



【行程表】

|     | アクティビティ・文化体験等のコンテンツ(食事の場合、特別食対応の可否、内容等について記載してください) | ・アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事務業者名、サポート人数等<br>・移動時間、宿泊施設の影響等<br>(注1)                       |   |
|-----|---|---|---|
| 1日目 | 朝食  | 各エリアから到着  |   |
|     | 午前  | 各地から移動  |   |
|     | 昼食  | —   |   |
|     | 午後  | 13:30 石垣離島ターミナル合流<br>専用車で移動<br>パンナ公園展望台 (20min)<br>石垣島鍾乳洞 (30min)<br>泡盛酒造所見学(30min) | 石垣島<br>【コンテンツ】<br>・ゲートウェイとなる石垣島を散策、然丸の島々を眺め、鍾乳洞を見学し、地元の造り手を見学   |
|     | 夕食  | 島内の飲食店<br>地元食材の沖縄料理   | 所要時間：約2時間<br>難易度：1  |
| 2日目 | 宿泊  | ビーチホテルサンシャイン石垣  | 備えられた歩道と階段を歩く・鍾乳洞は約660m   |
|     | 朝食  | 宿泊施設  | 西表島   |
|     | 午前  | 西表島へ移動<br>サバニクルーズ<br>移動   | 【コンテンツ】<br>・伝統木造船「サバニ」クルーズ<br>所要時間：約3時間<br>難易度：2  |
|     | 昼食  | マングローブ遊覧船にてお弁当  | 動力のない船を参加者全員で漕ぐ   |
|     | 午後  | 浦内川遊覧<br>上流の滝までのハイキング<br>ビーチにてサンセットタイム  | ・浦内川遊覧&ハイキング<br>所要時間：5時間<br>難易度：2<br>ある程度整備された平坦な山道を歩く<br>およそ? km<br>・宿泊施設隣接ビーチにてサンダウニー(任意)<br>所要時間：1時間~1.5時間 |
| 3日目 | 夕食  | 島内の飲食店<br>地元食材のアラカルト  |   |
|     | 宿泊  | 西表島ホテル  |   |
|     | 朝食  | 宿泊施設  | 西表島   |
|     | 午前  | 移動<br>環境省野生生物保護センター<br>小浜島へ移動   | ・生態系に関する展示<br>所要時間：1時間<br>難易度：1   |
|     | 昼食  | お弁当   |   |
| 3日目 | 午後  | 14:00 小浜港集合<br>ボートシュノーケル  | 小浜島<br>・ボートシュノーケル<br>所要時間：3時間<br>難易度：2~3  |
|     | 夕食  | 宿泊施設  |   |

|     |           |   |
|-----|-----------|---|
| 宿泊  | はいむるぶし小浜島 | 講習を含め2〜3箇所  |
| 最終日 | 朝食        | 宿泊施設  |
|     | 午前        | 8:30 ロビー集合<br>ボタリング島内散策<br>石垣島へ移動                   |
|     | 昼食        | 島内飲食店   |
|     | 午後        | 石垣空港にて解散  |
|     |           | 小浜島<br>・ボタリング<br>所要時間：3時間<br>難易度：1<br>電動アシスト付き自転車利用 |

※以下は必要に応じてご利用ください。

|   |   |
|---|---|
| ツアーの全体構成                                    |   |
| コース上における文化施設や休憩所などの配置状況                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンナ公園展望台</li> <li>・石垣島鐘乳洞</li> <li>・白浜公民館</li> <li>・浦内川観光</li> <li>・野生生物保護センター</li> <li>・細崎公園</li> </ul>  |
| 顧客の嗜好やスキルに応じた組立てやオプションの設定状況                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の経験値や体力に合わせてスピードや体験エリアを選択</li> <li>・西表島・小浜島のコンテンツを各2日間かけて体験することも可能</li> <li>・地域の伝統的工芸品「八重山ミンサー」の織織り体験、草木染め体験、泡盛の仕込み体験などの文化体験も実現可能 (他コンテンツと差し替えまたは延泊)</li> </ul>   |
| 安全性   |   |
| (1),(2) 全体の行程と内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき顧客情報等の状況 | <p>■参加者が用意する装備および持ち物：</p> <p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨具 (上下分かれたカッパなどのレインウェアを推奨)</li> <li>・ウィンドブレイカー (雨具と併用でも可、風除けの上着)</li> <li>・水着 (男性はインナータイプ+サーフパンツタイプを推奨、女性はあれば水着、ビキニタイプを推奨)</li> <li>・ラッシュガード、レギンスなど水着の上に羽織れる濡れても良い上下 (速乾性のTシャツ、ラッシュガード、サーフパンツなど)</li> <li>・ヒールの低い滑りにくいサンダル</li> <li>・常用薬、心配な方は酔い止め</li> </ul> <p>■あれば良いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水筒、タンブラーなど個人で水分を持ち歩けるもの</li> <li>・歯ブラシ、アメニティ類</li> <li>(履きという限られた環境への配慮とサステイナビリティを考慮して普段から履いているものを二つ持参ください)</li> <li>・日焼け止め (サンゴに影響の少ないノンケミカルのを推奨)</li> <li>・スマホ用防水ケース</li> <li>・防水カメラ</li> <li>・サンングラス</li> </ul> <p>■弊社が用意する装備等：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファーストエイドキット</li> </ul> <p>■レンタル可能なもの (以下の基本装備は体験に含まれる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフジャケットまたはウェットスーツ</li> <li>・シュノーケル用マスク、シュノーケル、フィン</li> <li>・ハイキング用長靴またはマリンスーツ</li> <li>・防水バッグ</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>■事前に必要な顧客情報：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスポート情報</li> <li>・加入している海外旅行保険情報</li> <li>・緊急連絡先 (氏名・電話番号)</li> <li>・病歴・治療中の病気や怪我 (別途病歴チェック表の提出をお願いします)</li> <li>・常用薬の有無及び内容</li> <li>・体験時に服用している薬</li> <li>・アレルギーや食事制限の有無と内容</li> </ul> <p>※特別なお食事には対応できない場合がございます。必ず事前にお知らせ下さい。</p> <p>※シュノーケルに参加するためには、別途添付する病歴確認書を提出の上、該当項目がある場合は医師の診断書が必要となります。診断書の発行は、現地では対応できません。</p> <p>※体調が優れないお客様は二日酔いなども含め、現地ガイドの判断によりアクティビティの参加をお断りする場合がございます。</p> <p>※天候により行程が変更になる場合がございます。</p> |
| ツアー進行中に予想される事故や怪我に対して適切な医療品等が用意されているか。 | <p>ガイドは各種緊急における資格を保持している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PADIEFR インストラクター</li> <li>・上級救命/WAFA</li> <li>・竹富町案内乗例認定ガイド</li> </ul> <p>【救急病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立八重山病院 (石垣島)</li> </ul> <p>【その他医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小浜島診療所 (小浜島)</li> <li>・西表島東部・西部診療所 (西表島)</li> </ul>  |
| 外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸出の有無及び内容    | <p>(可) ・ 否 ・ 検討中 (○をつけてください)</p> <p>内容：おおよそ 身長200cm、体重100kg、足のサイズ32cmまで対応可能</p>   |
| 悪天候時の代替案の有無及び内容                        | <p>(無) ・ 無 ・ 検討中 (○をつけてください)</p> <p>内容：</p>   |

【補足資料】

Where is Okinawa?

- Okinawa is made of groups of 160 islands with 48 inhabitant islands.
- It is split into 3 parts which is the Yaeyama region, Miyako region and the main island.

Weather in Okinawa

Subtropical Climate

- The only Sub-tropical climate prefecture in Japan.
- Group of Islands surrounded by rich coral reefs & emerald-green clear waters with white sand
- Unique cultural heritage
- Typhoon season around July to Sep
- Average Temperature: 23°C
- Avg. The temperature never get under 15°C

Abundant Nature

Iriomote island has been registered in the World Natural Heritage

Iriomote & Ishigaki has been registered in the National Park

Pristine Forest and Nature, a number of endemic species of flora and fauna that only exist in Okinawa

Guides

Sabani Cruise

Hiking

Snorkeling and Puttering

# 【株式会社おいでなせえ 梅原氏】

## 【モデルツアー】

※こちらは参考フォーマットになります。もしご自身でツアー紹介のためのフォーマットがございましたら、お持ちください。ツアーは既存のものでも、新案のものでも構いません。

|                  |  |       |
|------------------|--|-------|
| コース名<br>(25文字程度) | 日本の生活と遊びのリアル知る SAITAMA Life & Game ツアー   |       |
| 説明、またはハイライト      | ゲーム性を持った没入感を味わえるツアー<br>・ギネス認定された世界一のゲームセンターにてクレーンゲームを体験<br>・甲冑を付けた方たちとのサイクリング体験<br>・園場を自転車で自由にめぐり、自分好みのお野菜を収穫、JA女性部とお野菜調理体験<br>・日本の暮らしを支える農産体験 |       |
| メインアクティビティ       | サイクリング   | 難易度：2 |

|      |  |          |
|------|--|----------|
| 旅行期間 | 3~12月  | 日数：2泊3日  |
| 旅行人数 | 最少旅行人数 4名  | 最大人数 10名 |
| 旅行代金 | 大人1名あたり 円(税込) ※料金の算出はなくても問題ございません。<br>【含まれているもの】 |          |

### 【地域情報】

埼玉県は東京都の北に位置し、関東地方の中央に位置しています。隣接する県は、東京都、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、日本で人口密度が高い都道府県の一つです。2021年の時点での人口は約740万人であり、日本で人口第5位の都道府県です。埼玉県は古墳時代から古代にかけての遺跡が多くあり、この時代から農耕文化が根付き、土地の開墾や集落の形成が進みました。近代では工業化が進み、埼玉県は東京都のベッドタウンとして発展されたエリアとなっている。埼玉県は首都圏の一部であり、東京やその他の都市との交通アクセスが良好です。主要な鉄道路線や高速道路が整備されており、都心へのアクセスは良好だが、観光として盛んなエリアは部分的でありまだまだ発展途上の県である。



### 【画像】



### 行程表

| 日   | 時間  | 内容   | 備考   |
|-----|-----|--|--|
| 1日目 | 朝食  | -  | -  |
|     | 午前  | 11:00 熊谷駅集合<br>ブリーフィング、安全管理研修後、E-BIKEにて移動  | ・アクティビティ等の所要時間<br>・ガイド事業者名、サポート人数等<br>・移動時間、宿泊施設の形態等(注1)<br>・お客様の荷物はサポートカーにて運搬 |
|     | 昼食  | コンビニにて好きなものを購入<br>さきたま古墳公園にて昼食   | ・お客様の荷物はサポートカーにて運搬   |
|     | 午後  | 13:00 行田ゲームセンターエブリデイ UFOキャッチャー(店長ガイド有)<br>14:30 自転車移動<br>E-BIKE(1時間半/約12km)<br>田園風景、日本の町中移動。<br>地元菓子店への立寄り有      | ・行田のゲームセンター店長ガイド<br>【アクティビティ】<br>自転車(E-BIKE移動)<br>必要に応じてサイクリスト利用可能<br>合計1時間程度  |
|     | 夕食  | 小川町 地元居酒屋 太田ホルモン   | -  |
|     | 宿泊  | おかわ温泉 カワラホテル   | -  |
|     | 2日目 | 朝食   | 宿泊施設   |
| 午前  |     | 9:00 ホテル前集合<br>小川町内街歩き(小川町紹介、有機農業への取組、和紙生産者紹介(10分程度の和紙すき体験))   | ・有機農業、和紙ガイド(地域おこし協力隊)  |
| 昼食  |     | 廃棄されるお野菜を使った有機野菜のプレートランチ   | -  |
| 午後  |     | 13:00 3か所の園場を自由にめぐり<br>収穫付トレジャーサイクリング(2時間半/約18~30km) ※推奨ルート、場所案内のQRコード準備有<br>16:00 レンタル(イベント)スペース貸切でのJA女性部との調理体験 | ・通訳ガイドは3か所配置<br>・バニアバッグにて各自野菜の運搬<br>【アクティビティ】<br>自転車(E-BIKE移動)                 |
| 夕食  |     | JA女性部、生産者と交え食事<br>午前中に説明を行った小川町産のビール、日本酒、ワイン飲み比べ   | -  |
| 宿泊  |     | おかわ温泉 カワラホテル   | -  |

|     |    |  |                        |
|-----|----|--|------------------------|
| 3日目 | 朝食 | 06:30 農振師といただく森でのモーニング   | ・わな猟師1名<br>【アクティビティ】   |
|     | 午前 | 08:00 わな猟師の生活体験(自然との共生・共存など、持続可能な暮らしについて知る)<br>・わな猟師仕事体験、園場めぐり<br>・皮なめしワークショップ | 自転車(E-BIKE移動)<br>約12km |
|     | 昼食 | わな猟師流 BBQ  |                        |
|     | 午後 | 15:00 終了   |                        |
|     | 夕食 | -  |                        |
|     | 宿泊 | -  |                        |

※以下は必要に応じてご利用ください。

|   |  |
|---|--|
| ツアーの全体構成  | コース上における文化施設や休憩所などの配置状況  |
| 顧客の嗜好やスキルに応じた組立てやオプションの設定状況                             | ・全体の構成としてゲーム性を持たせ、没入感の演出   |
| 安全性<br>(1)~(4)<br>全体の行程と内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき顧客情報等の整備状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■参加者が用意する装備および持ち物：【必須】</li> <li>・スポーツしやすい服装</li> <li>・帽子</li> <li>・手袋</li> <li>・日焼け止め</li> <li>・タオル</li> <li>■あれば良いもの</li> <li>・リュック</li> <li>・補給食</li> <li>■弊社が用意する装備等：</li> <li>・E-BIKE(レンタルサイクル一式、QRコード付地図、バニアバッグ)</li> <li>・パンク修理セット</li> <li>・ファーストエイドキット</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園場に入る用の靴</li> <li>・サポートカー</li> <li>■レンタル可能なものなし</li> <li>■事前に必要な顧客情報: <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスポート情報</li> <li>・加入している海外旅行保険情報</li> <li>・緊急連絡先</li> <li>・持病、服用している薬</li> <li>・アレルギーの有無</li> <li>・食事制限の有無</li> <li>・身長</li> </ul> </li> </ul> |
| ツアー進行中に予想される事故や怪我に対して適切な医薬品等が用意されているか。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングガイド、上級救命講習</li> <li>小川日赤病院</li> <li>地元</li> </ul>  |
| 外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸出しの可否及び内容   | 可 ・ 否 ・ <input checked="" type="radio"/> (○をつけてください)<br>内容:  |
| 悪天候時の代替案の有無及び内容                        | 有 ・ 無 ・ <input checked="" type="radio"/> (○をつけてください)<br>内容:  |

【フィードバック内容（株式会社北海道宝島旅行社菊地氏よりフィードバック）】

・ 中根氏

なぜ、お酒（ワイン）の体験なのにテント泊なのかの理由付けが薄い。どうせならばお酒を楽しむためのキャンプではなく、キャンプをメインにしてしまい、それにお酒の体験が付いてくるとい見せ方の方が良いのではないか。

・ 倉知氏

伝統文化の和紙のツアーは非常に興味深い。しかし、なぜここで和紙の体験をやるのか、どうして和紙の歴史ができたのかという説明をして、「ここだけの特別感」を演出することが必要。

・ 前田氏

美しい写真があったので非常にわかりやすくて良かった。沖縄だからこその南国の体験がある、という説明も非常に素晴らしい。

・ 梅原氏

ゲームセンターという特色が出やすいものをアクティビティに持ってきたのは非常に興味深い。



## ■今後の改善案

ワークショップにおいては、ネットワーキングに大きな役割を果たし、各参加者が各地で実施している内容の共有を行う効果があったことから今後も引き続き行うべきである。

改善点としては、参加者からのアンケートの結果より下記の内容のフィードバックがあった。

- ・ ワーキング時間にて参加者同士の知る時間が得られれば良かった。
- ・ 最終日でやったような「ツアー商品の売り方」みたいな部分はもう少し実践形式で学びたかった。
- ・ 初日と最終日に同じコースのプレゼンテーションをするなど、研修内でブラッシュアップを図るのも面白いなと感じました。

上記のフィードバックを踏まえ、最終日のワークショップの内容を次のように修正することとする。

| 時間          | 内容  |
|-------------|---|
| 9:30        | 開始  |
| 9:30-10:15  | 商談・プレゼンに関する実践的／体系的な研修<br><div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>【講義内容想定】</b><br/>           ・実際に顧客が商談で気にするポイント<br/>           ・ストーリーやテーマの設定方法<br/>           ・準備物<br/>           ・商品造成や販売に関わる各種法規例)<br/>           景品表示法、旅行業法、運送法等         </div> |
| 10:15-10:30 | 初日のプレゼンテーション内容を踏まえて有識者からの各発表者へのフィードバック<br>質疑応答  |
| 10:30-11:15 | 上記踏まえ、各自ブラッシュアップ  |
|             | 昼食  |
| 13:00-14:30 | フィードバック内容を活かし、全体に対し各々発表／各発表者に対し、有識者によるフィードバック<br>*発表時間 各5分程度  |
| 14:30       | 全体フィードバック、終了  |

また、最終日のワークショップだけでなく、初日の時点で参加者同士の自己紹介も踏まえて各自のコースの発表を行うこととする。このことにより、フィードバックでもあった「最終日のワークがもう少し次につながる形だと良かった」という内容の要望にも応えることが可能となる。

### 3.5.2. 参加者へのアンケート調査

実地研修終了後に参加者からのアンケート調査を実施した。

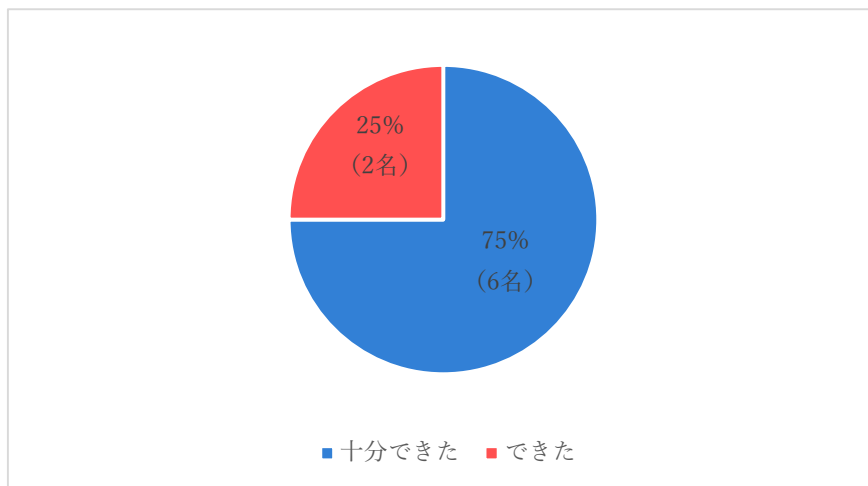
#### 【実施内容】

- ・ 配布時期 実地研修終了後 2/29 (木) 配信
- ・ 配布形式 メールにて Google フォームの URL を記載  
※Google フォームにアクセスできない場合はメールでの回答を受け付け
- ・ 調査項目
  - ①他地域の AT 関係者とのネットワーク構築に繋がったか。
  - ②今後 AT に携わる上で必要な知見を得られたか。
  - ③参加者自身に意識変容が生じたか。
  - ④そのほか、今後の研修継続に関するご意見

結果としては、下記の通りである。

#### ① AT ネットワーキングはできたと感じましたか。

参加者のうち、「十分できた」と回答した参加者が 75%、「できた」と回答した参加者が 25%と、参加した全員がネットワークはできたと回答した。(n (研修参加者数) =8)

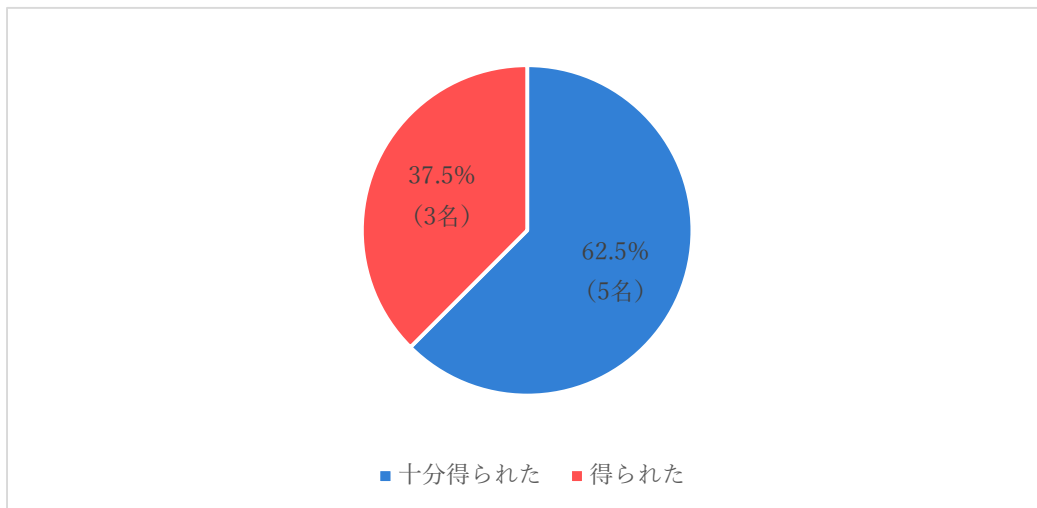


- ・ 行程にも余裕があり、また移動も同じ車であり、話をする時間もたっぷり取れていたと思います。
- ・ 自分は旅行会社や DMC、DMO ではないので、普段なかなか関わることのない組織の方々と知り合うことができ、またみなさんと話をする中で今まで自分にはなかった視点を得ることができた。
- ・ アクティビティ体験中も交流しやすく、ゆっくりお話しする時間が取れた点。
- ・ 道内は勿論ですが、道外の方との繋がりが出来たことによってチームジャパンとしての意識を再確認することができました。改善点ですが、今回の研修目的と私の参加目的が少し違った部分がありましたので、参加するレベル？例？を具体的にお教えいただけると助かります。(私のレベルだと皆様の会話についていけないところがありました……)

- ・ フリータイムのフリートークが中心でしたが、テーマを決めた討論やそれぞれの取組プレゼンなどがあればよりトークが深まると感じます。
- ・ 場所が北海道ということもあり、北海道の観光プレイヤーとの繋がりが深められたのが良かったです。改善点としては、ネットワーキングできる時間を意図的にもう少し作って欲しかったです。最終日も駆け足となってしまったので、互いの地域間についてのシェアがあまり出来なかったのが少し残念でした。ツアー参加ももちろん良い体験ですので、もう1泊増やしてネットワーキングの時間に充てても良いかと思います。
- ・ ATが薄い地域の活動する者にとって、連携体制が取れる方が出来たのはとても意義のある内容だった。ワーキング時間にて参加者同士の知る時間が得られれば良かった。

② 今後ATに携わる上で必要な知見を得られましたか。

参加者のうち、「十分得られた」と回答した参加者が62.5%、「得られた」と回答した参加者が37.5%の割合であり、参加者全員が必要な知見を得られたと回答した。(n(研修参加者数)=8)

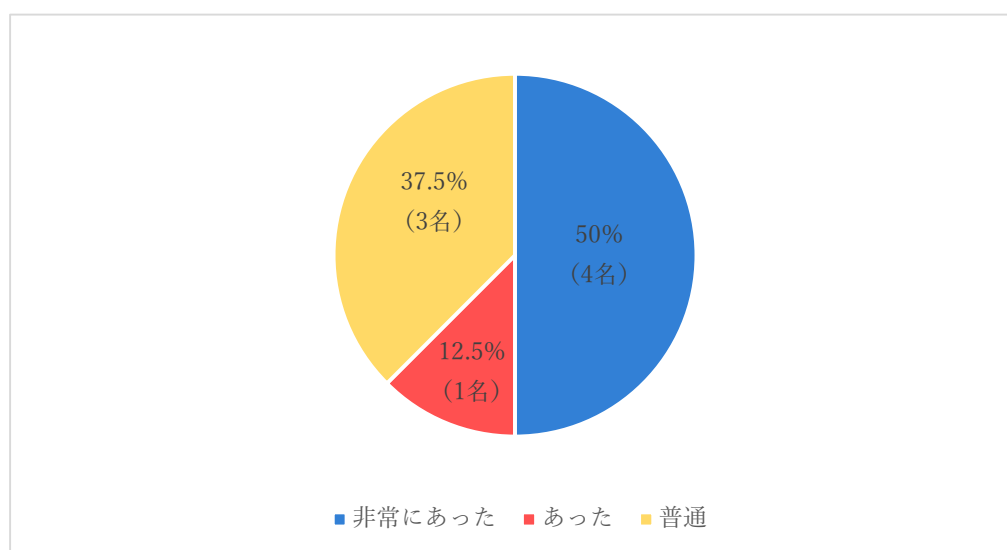


- ・ エリアそれぞれの課題や、取り組み、インバウンド対応など様々な知見を学ぶ時間が常にありました。
- ・ 各エリアが実際に取り組んでいることを知る時間ももっとあると望ましく…が、3泊の中では十分であったと感じます。
- ・ ATというのはあくまで概念であり、方法論ではないという点。ATの想定顧客は、一言で言うと「知的好奇心の高い人」だと思う。実際に弟子屈にいてもそのような方々が来ていると感じている。その方々に満足していただけるサービスをどのように届けていくのか、この過程はまだはっきりとした道筋は見えていないように思うので、どんなサービスをどのようにお客様に届けていくのか、この点の仮説検証を行なっていきたい。まずは自分のガイドサービスでto C向けに顧客動線の解明とニーズの深掘りを進めていく。
- ・ 他団体が造成中のツアーコースについて、作り方や考え方に関する意見を交換する機会がこれまでなかったため、特に最終日の時間は大変学び多かったです。
- ・ まず、ATの概念と言う部分で私の地域で考えているものと大きな違いがありましたので、学びになりました。

- ・ 実際にガイドを体験することで具体的なイメージも湧きましたし、地域の繋がりがとても大事だということも改めて学びとなりました。
- ・ 日本各地の動きや、コーディネーターとしての活動内容について学びました。初回なのでフィールドが多めでしたが、最終日のような実習も充実していただいていたと感じました。
- ・ 地域コーディネーター、スルーガイド、スポットガイドの各役割が存在し、有機的にどう繋がっていけば良いかイメージが鮮明になりました。AT 造成～運用まで手掛けていくには地域の総力戦となるため、体制づくりは非常に重要。体制づくりのなかで各セクションの役割と業務をしっかりと認識する（させる）ことから始めていきたいと思います。最終日でやったような「ツアー商品の売り方」みたいな部分はもう少し実践形式で学びたかったです。
- ・ AT に関する知識を深化させることができた（特にツアーの組み立て方という点において）。ツアーリズム初心者の方にとって、AT は今までツアーリズムを行ってきた者や観光まちづくりを行ってきた実践的な方が踏み入れることができる領域であると感じた。初心者でも取り組みやすいようなツアーをグループワーク形式で作るなど考えて学ぶような形があっても良いと考える。

③ 当研修を受ける前と受けた後に、AT ツアー造成に関する意識の変化はありましたか

参加者のうち、「非常にあった」と回答した参加者が 50%、「あった」と回答した参加者が 12.5%、「普通」と回答した参加者が 37.5%と、およそ 63%の参加者が「AT ツアー造成に関する意識の変化」はあったと回答した。（n（研修参加者数）=8）



- ・ 2次交通や食事、天候への対応などは自身のエリアにも重なることも多く、自信にもつながった。
- ・ 実際のプレゼンを想定することで具体的な改善点など、さらにグループワークにより様々な視点での見え方ができた。
- ・ AT のツアー造成に関しては、海外代理店→国内代理店→コーディネーター→ツアーオペレーターのような流れがあるが、実際のマーケットと相違があるのではないかと感じていた。実際に FAM もメディアなどの宣伝効果のある方々に対してのものが多く、実際の顧客をあまり目にしていなかったなのでその仮説が生まれた。今回の研修を通して、ツアー造成に関しては、各国、各

エリアで地域性があるのではないかと感じている。例えば、いわゆる AT のモデルツアー（PSA 的なもの）は、家族などの大人数で旅行をする華僑系には相性が良い一方、大家族で動くことの少ない欧米豪にはマッチしない形だと思った。欧米豪に対しては、セルフガイド的なツアーがうけるのではないかとという新たな仮説も生まれた。ターゲットによってツアー造成の仕方は変わってくるように思う。

- ・ 意識というよりも、ツアー内容を伝える際の工夫や協調すべきポイントについて学ぶことができました。
- ・ 学びの部分でも触れましたが、AT ツアー造成するにあたって、地域の事業者とのつながりは大事だということはわかってはいましたが、改めて意識することだと感じました。
- ・ 実際にガイドするのがその専門であればよいのですがなかなか難しいと思うので、地域事業者の協力は絶対だなと感じました。  
今年の夏は個人的にでも地域との繋がりを作りにいこうと考えています。
- ・ もともと高く意識を持っていると自己評価しているのですが、むしろ危機感というか課題感が高まったという面で意識の変化があったように思います。
- ・ 上記、必要な知見と同様、地域コーディネーター、スルーガイド、スポットガイドの各役割が存在し、有機的にどう繋がっていけば良いか、という点について非常に意識が変わりました。
- ・ ストーリーの意味づけ

#### ④そのほかお気づきの点があればお知らせください。

- ・ ぜひ継続しての研修とネットワーキングをお願いしたいです。やはり AT 先駆者である北海道の皆様との交流は得るものが多く大変勉強にもなりました。
- ・ 全国、全道、どこにでも行きます！  
また、地域の他の事業者へも推奨したいです。
- ・ 今回の研修の中で、最終日のワークがツアー造成であったが、このまとめ方がもう少し次につながる形だと良かったように思う。というのも、ツアー造成の内容が PSA 的なものであったが、今回、多様なアクターが参加しているという点も考慮すると、参加者それぞれの視点で AT というものを捉え、どのようなアクションに繋げるのか、その仮説を立て、実際に検証まで行い、後日、その結果をオンライン等で報告するような形であれば、実際のマーケットの反応も確認でき、AT という切り口からより顧客に対する解像度を上げられるように感じた。解像度が上がると次のアクションがより明確になるので、更なるフェーズに進めるように思う。
- ・ 初日と最終日に同じコースのプレゼンテーションをするなど、研修内でブラッシュアップを図るのも面白いなと感じました。
- ・ 今回、私自身こういった研修会に参加するのが初めてで、毎日が学びになりました。ありがとうございました。事前のオンライン研修もあったことで実地研修にも入りやすく、経験が浅い私には、非常に助かりました。  
ただ、最終日のプレゼン時に時間が限られていたこともあり、うまくできなかったことは後悔しております。それも含め、良い経験になりました。  
同じような研修会がある場合は、時間を少し長めにとって頂いて、フィードバックをもとにプレゼン内容の変更ができればありがたいなと思いました。

- ・ 事前に参加者の名簿をいただけると嬉しかったです。もっと参加者のバックグラウンドやプロダクトなど、情報をインプットしてから参加できた方がネットワークの充実度が高まると思いました。

⑤今後このような研修を実施する場合、やってみたい地域やできそうな地域、さらには今後やってみたいことや学びたい点についてお知らせください。

- ・ 他の国立公園域、他県でも。  
もちろんネクスト北海道を目指す沖縄での開催も目指したいと思います。
- ・ ネットワーキングは重要だと感じた。AT という新たな市場に挑んでいると思っているが、黎明期は顧客像やニーズ、実際の動線を捉えるのが難しいと感じている。実際に全国でATに取り組んでいる方々との情報共有を通して、AT の市場を作っていけると思う。実際の顧客を目の前にしたトライアンドエラーの報告などができると非常に良いと思う。
- ・ 弟子屈エリアの魅力を改めて感じました。森、かつて栄えた温泉街など、キーワードで道内をつなげていくのも興味深いと思いました。特に森については今後さらに学びたいです。
- ・ プレゼンの際に梅原さんが話していたゲームセンターをAT と考えるのはすごく面白い考えだなと思いました。

私の地域はAT についてまだまだ発展途上だと思いますので5年後に研修地としてお待ちしております。笑

夏場であればサイクリングに興味があるので道内であれば、富良野・美瑛地区で道外であれば富士山・山中湖あたりが良いかなと思いました。

AT について学ぶ場としてハードルを下げたものがあると、より様々な業種の方が参加するネットワーキング構築に繋がるのではないかとも思いました。

- ・ 一口に「コーディネート」と言っても、ツアーオペレーターとスルーガイドとデスティネーションがそれぞれ行っている「コーディネートの定義や役割」には違いがあると感じています。コーディネーター研修が回数を重ねていくようであれば、より細分化したテーマやグループ分け、課題などに取り組めたらなお良いなと感じました。
- ・ 次回は高知県開催でぜひよろしく願いいたします！
- ・ 関東、山陰、伊豆諸島  
海外でAT を実践されている方を招聘したインバウンド企画造成における講習会

### 3.6. アンケート調査結果を踏まえた今後の変更点の検討

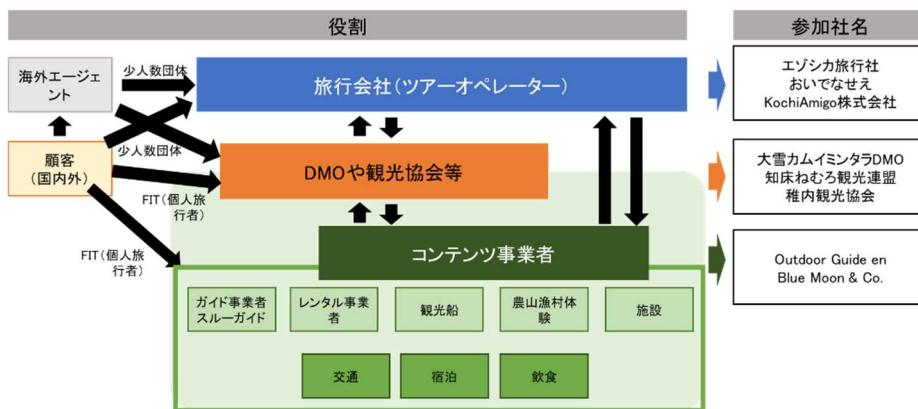
#### 3.6.1. 研修の構成と参加者の属性

まず、研修自体は全てのアンケートの結果としては、「AT ツアー造成に関する意識の変化」を評価いただいた方が63%であったが、それ以外の項目では全員が満足を得たという結果がでており、非常に好評であった。研修の内容の構成としては、下記のとおりである。

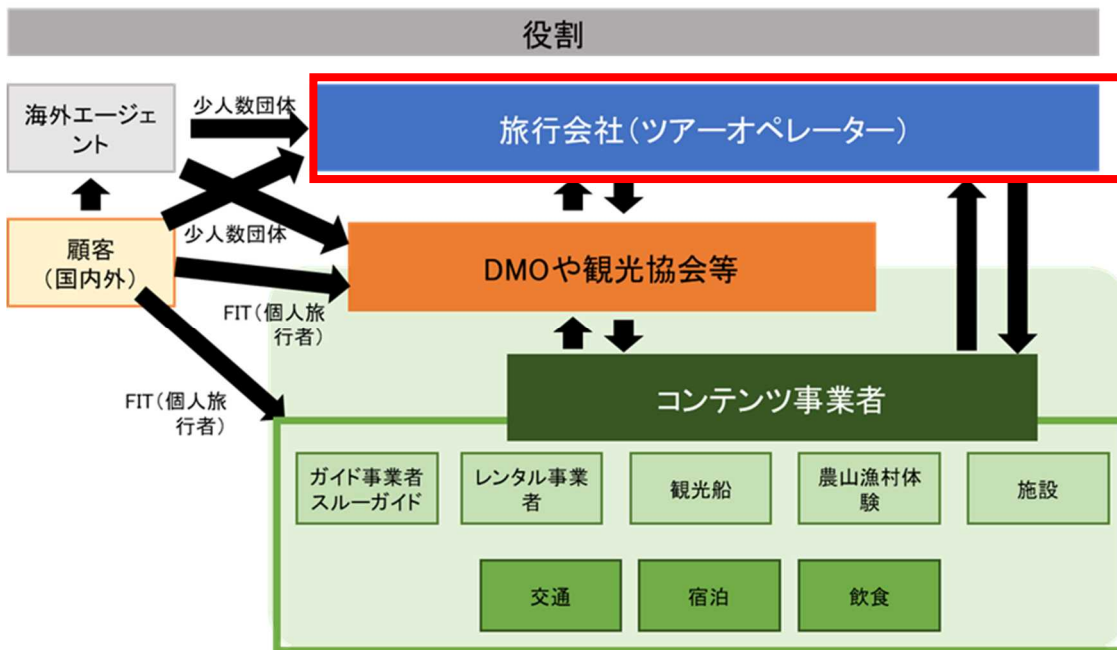
|      | ステップ① 事前研修<br>アイスブレイク<br>AT顧客層の理解(ベース)  | ステップ② 実地研修<br>実地体験/ネットワークング   | ステップ③ ワークショップ<br>販売に向けたツアーのブラッシュアップ   | ステップ④ 継続的なネットワーク<br>研修参加者のSNSグループの作成  |
|------|---|---|---|---|
| 狙い   | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者同士の顔合わせ</li> <li>AT顧客が求めるツアーへの理解深耕</li> <li>コーディネーターの役割の基礎的理解</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>現場の動きの理解(ガイド、コーディネーター、スルーガイド)</li> <li>AT顧客が求めるツアーの理解深耕</li> <li>参加者同士のネットワーク/取り組みの相互理解</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>実地研修を踏まえて自身のツアーのブラッシュアップ</li> <li>販売時の商談の手法や第3者の視点からの自身の商品の評価を学ぶ</li> <li>参加者同士の取り組みの相互理解</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な連携体制の構築</li> <li>相互の事例の共有</li> </ul> |
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者と事務局の自己紹介</li> <li>有識者によるAT顧客像と顧客が求めるツアー</li> <li>ATツアー造成におけるコーディネーターの役割</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティビティの体験</li> <li>アクティビティ単体だけでなく、宿泊・移動、プランBの組み立ても含めたツアー運営の理解</li> <li>有識者との意見交換</li> <li>参加者同士のフリートーク</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自身のツアーのプレゼンテーションと参加者・有識者からのフィードバック</li> <li>※フィードバック内容は商品自体及びプレゼンテーションの内容・手法についてのものである。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>LINEやFacebookのメッセージンググループの作成</li> </ul>  |
|      | 宿題・課題の設定<br>(自身のツアー造成)  | 自身の課題のブラッシュアップ  | 課題の発表   |   |

今回の参加者については、一口にコーディネーターと言っても属性が異なり、それぞれの役割や普段の活動内容に違いがみられた。役割と普段の活動については、下記のように整理する。

なお、次項以降の各役割の「求められる役割」の内容については、北海道宝島旅行社の今までの知見に基づく。



➤ 旅行会社（ツアーオペレーター）に求められるもの

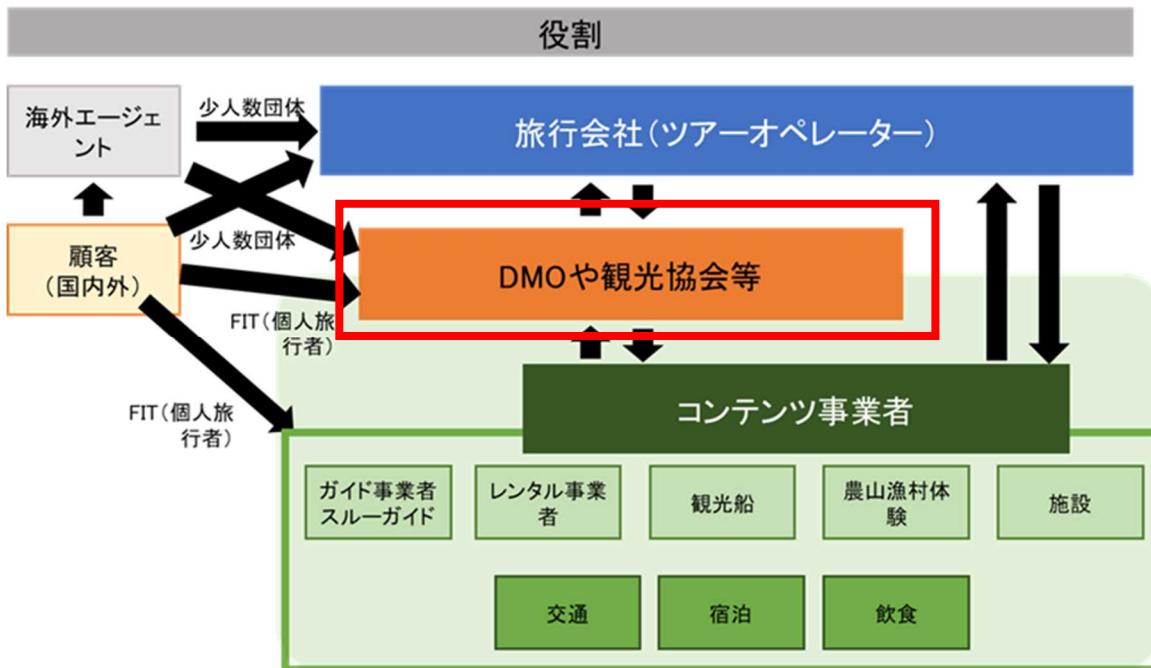


求められる役割

- 顧客の要望を聞き取り、それを誤りなく正確に地域へ渡すこと
- 既にある地域の素材の編集を行い、どの順番でめぐるのか、何を伝えたいかを明確にして、行程を組み立てること
- 欧米豪のニーズや興味を理解し、地域の素材の見せ方の編集を行うこと
- 欧米豪の顧客のニーズや興味を理解したプロモーションを行うこと
- 各エリアのコンセプトや、競合地域のコンセプトを理解し、顧客の要望にあった行程を組むこと
- お客様の安全を保障するために、信頼できる事業者（ガイドのみならず、宿泊、飲食、施設等総合的に）を選出すること
- 不測の事態に備えて地域に適確な相談を行い、不測な自体が起こった際に適確な判断を行える準備を行うこと

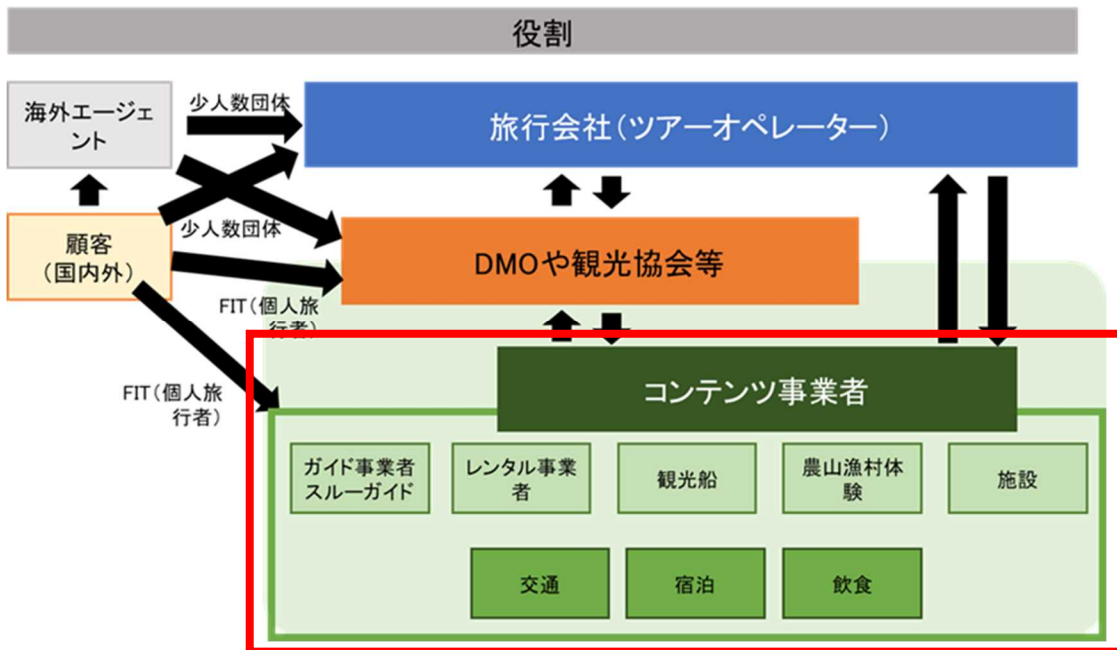


➤ DMO や観光協会に求められるもの



|                |   |
|----------------|---|
| <p>求められる役割</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ どういうお客様に来て欲しいのか？その顧客を呼んで地域で成し遂げたいことはなにか？を明確にすること</li> <li>➤ 上記の必要性を事業者へ説明を行い、機運醸成を図ること</li> <li>➤ 顧客の安全を守るためのインフラ整備を行うこと</li> <li>➤ 宿泊施設や飲食店の情報が英語で掲載されているか、情報発信が正しい状態で行われているかを確認すること</li> <li>➤ 地域の特徴を正しく理解し、ターゲットに届くPRを行うこと</li> <li>➤ 旅行会社や事業者と連携し、常に顧客のニーズを把握する努力を行うこと（プロダクトアウトの視点とマーケットインの視点をバランスよく取り入れる）</li> <li>➤ 地域事業者の状況の把握</li> <li>➤ ターゲットに対する理解を深め、ターゲットが求めている地域ならではの（もしくはそのコーディネーターならではの）付加価値を商品に付与し、旅行会社に商品を卸すこと</li> </ul> |
|----------------|---|

➤ コンテンツ事業者求められるもの



|                |  |
|----------------|--|
| <p>求められる役割</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 顧客の安全を保障するための、語学、保険、資格等の準備</li> <li>➤ 現場の状況をフィールドワークにて把握し、変化する状況に対応できる柔軟性を身に着けること</li> <li>➤ 適切な装備や服装を参加者に呼びかけると同時に、自身の装備や服装、機器の整備も行うこと</li> <li>➤ 活用するインフラの設備確認や整備を適切に行うこと</li> <li>➤ 万が一の際の対応の確認（連絡体制、保険、免責事項の確認、ファーストエイド等）</li> <li>➤ アドベンチャートラベラーの特性をとらえたアクティビティ上のルート等の設定と、ガイディング技術、ファシリテーション技術を養うこと</li> <li>➤ 地域の特性と欧米豪のニーズを把握し、適切な商品造成を行うこと</li> <li>➤ サステナビリティへの配慮</li> <li>➤ 地域への経済貢献</li> </ul> |
|----------------|--|

先に示したとおり、今回の参加者としては、大きく 3 種の属性分類から参加いただいている。そのため、普段関わらない属性の方々と交わり、様々な角度からのツアー造成について学ぶことができた一方で、普段の業務内容及び役割が異なっており、AT に対する温度感・取り組み方の違いから、意識変容の結果に差が出た結果となった。

**【アンケート結果】**

①他地域の AT 関係者とのネットワーク構築に繋がったか。

100% 5 又は 4 と回答（「あった」と回答）

②今後 AT に携わる上で必要な知見を得られたか。

100% 5 又は 4 と回答（「得られた」と回答）

③参加者自身に意識変容が生じたか。

63% 5 又は 4 と回答（「生じた」と回答）、25% 3 と回答（「普通」と回答）

そのため、より細分化した課題の設定とワークショップ内容の実施が求められる。

しかし、今回のフィードバック内容で評価されていた点としては、「他のエリア、業種の人々と意見交換できてよかった」「他の方々のツアーの作り方や考え方に関する意見交換ができたことが良かった」という点も挙げられていたことから、すぐに課題を修正することをせずに、今後の検討課題としておく。

属性別の研修案としては、各属性別の今回の研修に対する評価点と改善点から下記の内容が考えられる。

|              |   |
|--------------|---|
| ツアーオペレーター向け  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツアー造成・販売におけるポイントと注意点</li> <li>・ AT 顧客のマーケットと傾向</li> </ul>                                      |
| 観光協会・DMO 向け  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AT 顧客が求める地域のストーリーの作り方</li> <li>・ 地域事業者との連携事例</li> <li>・ AT 顧客が求める地域インフラ</li> </ul>             |
| 地域コンテンツ事業者向け | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域素材を活用し自身の商品への反映の仕方</li> <li>・ 地域内での連携事例（観光協会や通訳案内士、生産者や飲食店等）</li> <li>・ AT 顧客のニーズ</li> </ul> |

### 3.6.2. ネットワーキングにおける改善点

全ての属性で評価された項目としては、下記の内容である。

- ・ 今までであったことのない方々とネットワークができた（地域、所属）。
- ・ 各役割の方々がツアーにおいてどのような働きをするのかが明確化した。

実地研修時で、ネットワーキングに役立った点に挙げられていたのは下記の場面である。

|   |   |   |
|---|---|---|
|  |  |  |
| <p>宿泊施設での自由時間。時間があればフリートークで情報交換が行われていた。</p>                                       | <p>アクティビティ時の移動中の時間等。役割の確認もこちらで行っている。</p>  | <p>最終日の自身のツアーの発表。ほかの参加者の発表内容を聞く時間を作っている。</p>  |

上記より、研修時で今後も継続が必要な要素としては下記のとおりである。

- ・ **現地研修は、合宿形式での開催**  
もし、ホテルで開催の場合は集合ができるよう会議室を予約し、集まる場所と時間を意図的に作り出す必要がある。
- ・ **ゆったりとした行程**  
疲れない程度の難易度で、ツアー中も話すことができる状態にしておくことで、ガイドに質問をしたり、アクティビティを題材にして参加者同士の意見交換を行うことができる。
- ・ **多様な地域関係者の参加**  
「コーディネーター」の募集とはなっているものの、異業種（ツアーオペレーター、ガイド、DMO や観光協会）が交じりあうことで、地域の関係者の各々の役割の把握と地域の受入体制の理解を深耕することができる。
- ・ **最終日の自身のツアーブラッシュアップ ワークショップ**  
他の参加者の取り組みを知ることができ、かつ販売のためのプレゼンテーションを学ぶことができた、という点で評価が高い。

一方で、ネットワーキングについては、各属性から改善点が出ていた。改善点については下記のとおりである。

- ・ フリートークでの情報交換であったため、テーマに沿った参加者同士の意見交換が欲しかった。
- ・ 実際の顧客を目の前にしたトライアンドエラーの報告などができると非常に良いと思う。

改善点としては、下記の内容が考えられる。

#### ①より多い数の成功と失敗事例の共有

- ・ 初日にお互いの地域で実施している内容を共有する。

#### ②相互に学びあい・高めあう仲間づくり

- ・ 1日の最後に振り返りを行い、疑問点の解消。
- ・ 上記の意見交換時に、講師や事務局だけでなく知見がある参加者が発言し、他の参加者の学びとする。

#### ③定期的な情報交換によるPDCA効果

- ・ 事後オンライン研修の実施
- ・ LINEグループなどの設定

事務局としては、それぞれの参加者の強みや確認したい疑問点を把握し、現地研修でファシリテートが可能なよう、参加申し込み時に参加者から

- ・ 所属
- ・ 研修に期待していること・学びたいこと

上記の聞き取り、または申し込み用紙への記入を行っていただくこととする。

## 4. 総括

### 4.1. 今回の事業で得られた成果

ア 研修プログラム作成数 1件 根拠：事前研修及び実地研修の内容

イ 研修プログラム参加者 8名 根拠：研修申し込み人数

→【未達理由】広く声かけを行ったが、各種研修の時期とかさなってしまったこと、北海道の観光の繁忙期と重なってしまったことで、参加者数が未達となった。

ウ ネットワーク構築につながったと回答する参加者 10割 根拠：研修後アンケート結果

エ ATに携わる上で必要な知見を得られたと回答する参加者 10割 根拠：研修後アンケート結果

オ 意識変容が生じた参加者 約6割 根拠：研修後アンケート結果

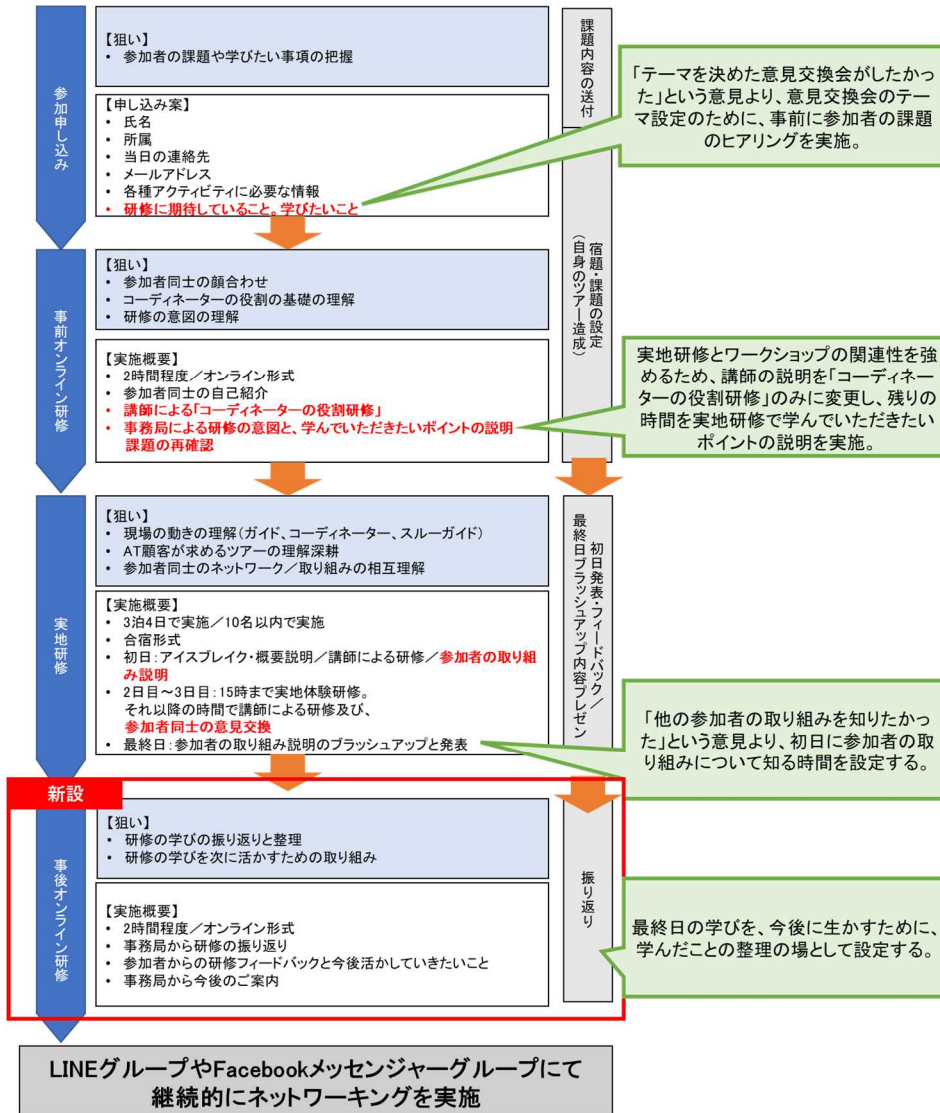
→【未達理由】「ツアーの造成」に対する意識変容というよりは、「アドベンチャートラベル自体」や「地域内の役割」に対する意識変容等、別の部分での変容との回答があった。

## 4.2. 今後の提言内容

### ◆研修内容案

アンケートからのフィードバックとまとめより下記の内容を今後の研修案として実施していくこととする。

※赤字が改善点である。



## ■今後の検討案

### ・参加者の属性ごとの分科会の実施

今回の研修で参加者の属性ごとに、AT ツアー造成に関する意識変容に差があったことから、普段の業務の違いや役割の違いに配慮した分科会の設定が必要と考えられる。属性ごとに求められる役割から、分科会案は下記の内容が考えられる。

#### 【分科会案】

|              |   |
|--------------|---|
| ツアーオペレーター向け  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ツアー造成・販売におけるポイントと注意点</li><li>・ AT 顧客のマーケットと傾向</li></ul>                                     |
| 観光協会・DMO 向け  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ AT 顧客が求める地域のストーリーの作り方</li><li>・ 地域事業者との連携事例</li><li>・ AT 顧客が求める地域インフラ</li></ul>             |
| 地域コンテンツ事業者向け | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域素材を活用し自身の商品への反映の仕方</li><li>・ 地域内での連携事例（観光協会や通訳案内士、生産者や飲食店等）</li><li>・ AT 顧客のニーズ</li></ul> |



### 4.3. 総評

本事業では「AT ツアーの品質向上」、「アドベンチャートラベルのコーディネーターとしての役割への理解」、「地域外との広域のネットワークを構築」を目的とした研修が AT 受入体制強化に有効であるという仮説を元に事業を実施した。

研修後の参加者アンケートより、下記の評価が得られた。

- ・ ネットワーク構築につながったと回答する参加者 10 割
- ・ AT に携わる上で必要な知見を得られたと回答する参加者 10 割
- ・ 意識変容が生じた参加者 約 6 割

また以下の様なコメントも得られた。

- ・ 普段なかなか関わる事のない組織の方々と知り合うことができ、またみなさんと話しをする中で、今まで自分にはなかった視点を得ることができた。
- ・ 道内はもちろんですが、道外の方とのつながりができたことによってチームジャパンとしての意識を再確認できた。
- ・ 地域コーディネーター、スルーガイド、スポットガイドの各役割が存在し、有機的にどうつながっていけばよいかイメージが鮮明になった。

これらの結果から、実際に AT の現場を見ることで、「従来の観光」にはない、AT における DMO や旅行会社、ガイド等の役割分担を学ぶことに役立ったと言える。また、DMO や旅行会社、ガイドといった異業種の交流、および異なる地域のコーディネーターが集うことにより、様々な視点からの意見を収集することができたという点も、高い評価がなされ、効果が実証された。

一方で、これらの回答から逆説的に、普段からいかに「異業種との交流がない」、「全国でのネットワークを作る機会がない」、「実践の場に訪問する機会がない」かがわかってくる。

AT において重要なことは、お互いの役割を理解しながら、各自の役割を全うすることである。それは地域内だけではなく、地域対地域でも同様のことが言える。これができるようになるためには、「相互の連携」だけでなく、「一緒に働く相手が何者であるのか」を知る機会を設けることが重要である。

そのため、今後も継続的にこのような実地で AT を学ぶことができ、かつ全国のネットワークを構築することができる研修を実施していくと同時に、積極的に AT の実践の場に繰り出していく機会を設けていく必要があると言える。

以上